

総会特集

「建築士の日」 記念事業

2025.9

No. 164

あきた建築士会ニュース



中国木材(株) 能代工場 (能代市)

一般社団法人 秋田県建築士会

中国木材(株) 能代工場

能代山本建築士会 大 高 勇

かつて「東洋一の木都」と称されながら外材に押され長らくその面影が薄れていた秋田県能代市で、昨年10月、国内製材最大手の中国木材（広島県呉市）が能代工場完成披露式を行った。

同工場は県営の能代工業団地にあり、4カ所の敷地は計約44万平方メートル。国立競技場6個が入る広さで、同社を含め27社が入る同団地総面積約94万平方メートルの半分近くを占める。原木土場、製材棟、木材天乾場、加工集成材棟などがある。

約2万5千平方メートルの製材棟では、原木土場から搬入された長さ4メートル、太いもので直径80センチの原木丸太が大型機械ラインに載ってさまざまな規格に製材される。作業は自動化され、従業員が各ラインの流れを見守る。

製材は天日乾燥後に製材棟の2倍の広さの加工集成材棟で補修、プレス、接着、小割大割、仕上げなどの工程が自動で行われる。出来上がった集成材の柱は無垢（むく）材に比べて反りやねじれがなく、住宅建材の主流になっている。

生産が軌道に乗れば、年間の製材・加工量は長さ4メートル、直径50センチの丸太だと約20万本分の24万立方メートル。現在約190人の従業員は250人となる。

工場が出る端材やおがくずが燃料のバイオマス発電も自家消費は稼働中で、来年度には毎時9950キロワットを売電する発電所も完成する。



加工集成材・発電エリア



天乾場エリア



製材工場内部

目 次

会 長 挨 拶	一般社団法人 秋田県建築士会 会長 小田島 誠	2
定時会員総会	令和7年度定時会員総会が開催されました	3
総 会 式 典	会長式辞 式典祝辞 式典祝辞	一般社団法人 秋田県建築士会 会長 淡 路 孝 次 秋田県議会議長 工 藤 嘉 範 秋田県建設部建築住宅課長 土 橋 吉 秀
役 員 紹 介		9
功 労 者 表 彰	令和7年度通常総会 永年功労者表彰	13
新入会員紹介	新入会員からのメッセージ	16
建 築 士 の 日		17
活 動 報 告	まちづくり委員会 まちづくり委員会の活動について	22
	青年委員会 (公社)日本建築士会連合会東北ブロック会青年建築士連絡協議会 第14回東北ブロック青年大会 あきた大会	26
	「建築士の日」親子体験学習 ～つくってあそぼう 親子木工教室～	27
	女性委員会 R6年度 第3回女性委員会学習会「折り紙建築に挑戦」に参加して	28
	令和7年度女性委員会 第1回学習会に参加して テーマ:「災害に備えるための二つのお話ーあなたの家の災害環境, 噴火サバイバルガイド」	29
	令和7年度 第34回全国女性建築士連絡協議会(やまがた)E分科会 建築士の役割を一般の方にわかりやすく伝える～林業木材産業との 協働の中で～	30
投 稿 だ よ り	秋田県の中の湯沢市 2025『ものづくり温故知新』	湯沢雄勝建築士会 31
会 務 報 告		33
地 域 会 だ よ り		35
事 務 局 だ よ り		42
編 集 後 記		46

秋田県建築士会 会長就任にあたって



一般社団法人 秋田県建築士会 会長 小田島 誠

会員の皆様、この度、秋田県建築士会の会長を務めることになりました仙北建築士会の小田島誠でございます。歴史と伝統ある士会の舵取りを任せていただくことに、大きな責任を感じるとともに、皆様と共に歩めることに心からの喜びと期待で胸がいっぱいです。前任の淡路孝次会長には8年の長きに涉り務めて頂き、誠にありがとうございました。また、これまで士会を支え、秋田の建築文化発展にご尽力されてきた先輩方、そして何よりも日々の業務に真摯に向き合う会員の皆様に、深く感謝申し上げます。至らぬ点も多々あるかと存じますが、皆様のお力添えをいただきながら、精一杯職務に励んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

一歩先の未来へ、共に築く士会

私たちの建築業界は、今、まさに変化の時を迎えています。少子高齢化による担い手不足、脱炭素社会への移行、デジタル技術の進化など、乗り越えるべき課題も多いですが、これらは同時に、私たちが持つ専門知識と技術で、秋田の豊かな未来を創造していく大きなチャンスでもあります。

私が会長として最も大切にしたいのは、「誰もが主役となり、未来を共に創る士会」です。そのために、以下の三つの柱を掲げ、活動を推進してまいります。

1.「世代を超えて、つながり育む」士会！

会員の皆様が、世代や専門分野の垣根を越えて、もっと活発に交流できる機会を増やしたいと考えています。ベテランの皆様が培ってこられた貴重な知見と、若手建築士の柔軟な発想が出会うことで、新たな視点や協働が生まれると確信しています。研修会や委員会活動に加え、親睦を深める場を積極的に設け、互いに刺激し合い、高め合える温かいコミュニティを育んでいきたいと思います。

2.「挑戦を後押し、成長を支える」士会！

建築を取り巻く環境は常に変化しています。

新しい技術や素材、持続可能な社会に対応するための知識など、常に学び続けることが私たちの責務です。士会として、最新の情報を共有し、実践的な研修プログラムを充実させることで、会員の皆様一人ひとりのスキルアップとキャリア形成を力強く支援します。個々の挑戦を後押しし、建築士としてのさらなる可能性を共に追求していきましょう。

3.「地域に根ざし、活力を生み出す」士会！

私たち建築士は、秋田の安全で快適な暮らしを支え、魅力的なまちづくりに貢献するプロフェッショナル集団です。空き家問題、防災・減災、地域資源の活用、景観形成など、秋田が抱える様々な課題に対し、建築の専門家として積極的に提言し、具体的な行動を起こしていくことが求められています。行政や地域の方々との連携を強化し、私たちの知識と経験を地域に還元することで、秋田に新たな活力を生み出していきましょう。

会員の皆様と共に、次の100年へ

士会の活動は、役員や特定のメンバーだけのものではありません。会員の皆様一人ひとりの「もっとこうなったら良いのに」「こんなことがやってみたい」という声が、士会を動かす最も大切な原動力となります。どんな小さなことでも構いませんので、ぜひ積極にご意見やご提案をお寄せください。

皆様の情熱とアイデアを結集し、この秋田県建築士会が、会員の皆様にとって「なくてはならない場所」となるよう、私自身も先頭に立って尽力してまいります。

これからの一年間、皆様と共に秋田の建築界を盛り上げ、実り多き活動ができることを心から楽しみにしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和7年度定時会員総会が開催されました

新会長に小田島誠専務理事が就任 淡路会長が4期8年の任期を終え退任

一般社団法人秋田県建築士会の定時会員総会が、令和7年6月26日午後2時30分から秋田市のキャッスルホテルで開催されました。

総会に先だち淡路孝次会長より『早いもので会長に就任してから四期8年満了となりました。会長として一番の目標としてきたことは、建築士及び建築士会の社会的地位向上でありました。全国大会あきた大会を成功させるための取組みも、この目標達成のための事業の一つと捉えており、お陰様で皆様の協力のもと各方面で大成功との評価をいただきました。我々建築士はそれぞれの地域に根ざして建築のプロとして生業を為しており、地域社会での地位向上は必要不可欠です。地域貢献活動を通して決して受け身ではなく自ら進んで活動することが大切です。私自身は積極的に発信することが地域貢献につながることを改めて自覚できるようになりました。本総会は当会の活動に道筋を決定する重要な審議の場であるため、慎重なご判断と関連な討議をお願いいたします。』との挨拶がありました。

次に、事務局から令和7年4月末現在の正会員数が772名で、このうち出席者が92名、委任状による出席者が435名、合計527名で、本日の総会が定足数を満たしていることが報告されました。続いて、秋田中央建築士会松本繁さんが議長に選出されたほか、議事録署名人に秋田中央建築士会の佐藤温さんと若松康博さんが選任され議案審議に移りました。

第1号議案の令和6年度事業の収支決算書類の承認の件(会計監査報告含む)と、報告事項である令和6年度の事業報告、令和7年度の事業計画及び収支予算については、それぞれ審議が行われ何れも原案通り承認されました。

第2号議案は定款の変更で、建築士資格を有しないが入会を希望する方の入会を認める内容で原案通り承認されました。

また、第3号議案の理事及び監事の選任の件については、任期満了に伴う役員改選のため理事24名、監事3名がそれぞれ新たに選任されました。

総会終了後直ちに臨時理事会が開催され、会長及び副会長等の案件を議題としたところ、新会長に仙北建築士会の小田島誠専務理事が全会一致で選任されたほか、副会長3名と専務理事1名を新たに選任いたしました。(※新役員については、別途紹介ページをご覧ください。)

続いて、午後4時から「式典」が開催され、主催者である淡路会長の式辞の後、9名の方々に永年功労者表彰が授与されたほか、ご来賓の秋田県議会副議長の工藤嘉範様と秋田県建設部建築住宅課の土橋吉秀様からご祝辞をいただきました。

午後4時30分から祝賀会が開催され、新会長の就任挨拶及び執行役員の紹介の後、(一財)秋田県建築住宅センター理事長の中野賢俊様の音頭で乾杯が行われ開宴しました。途中、隣の会場の行事に参加されていた鈴木健太知事が飛び入りで登壇され大歓声の中メッセージを頂いたり、終始和やかな雰囲気の中で祝宴が催されました。



会 長 式 辞

一般社団法人 秋田県建築士会 会長 淡 路 孝 次

本日は秋田県建築士会令和7年度記念式典を秋田県県議会議員 工藤嘉範様、秋田県建築住宅課課長 土橋吉秀様をはじめ、多数のご来賓の皆様の御臨席を賜り開催できますことは誠にうれしい限りでございます。改めて御礼申し上げます。

本式典に先立ち開催されました定時会員総会に起きまして、上程いたしました議案全て御承認いただきましたことを、まずもって御報告させていただきます。

ところで秋田県建築士会会員は建築基準法や建築士法の目的達成のため、自身の生業を通して日々活動し、また研修を重ね、地域発展のため努力いたしております。そこで本日の式典において、当会の発展並びに地域の発展に長年ご尽力いただいた県内8地域会の9名の会員の方々を表彰させていただきます。心からお祝いと感謝を述べさせていただき、引き続き地域の発展に、また建築士会活動に御活躍いただけますことを心から祈念いたしております。

結びに、4期8年に亘り支えて頂いたことに心から感謝いたしますとともに、新たな執行部体制によって更に飛躍されることを祈念し式辞といたします。



式 典 祝 辞

秋田県議会議員 工 藤 嘉 範
((一社) 秋田県建築士会 顧問)

だいま紹介いただきました秋田県議会議員の工藤嘉範です。

令和7年度秋田県建築士会定時総会・式典への御招待、またこのように御挨拶の機会をいただき、感謝申し上げます。併せて、顧問への指名についても、重ねて御礼申し上げます。

また、先ほど表彰された9名の方々におかれましては、これまでの御尽力に対して、私からも心からの

感謝と敬意を表したいと存じます。

先ほどの会長の式辞にあったように、淡路会長におかれましては4期8年の間、大変お疲れ様でした。会長とは、私が都市建設公社に就職した昭和55年からの長い付き合いであり、あらゆる場面において大変世話になりました。

私事で恐縮ですが、昭和57年に岩手県宮古市出身で建築士をしている妻と結婚しました。当時、知り合いや友人もいない状況の妻を、その年に発足した女性建築士会の仲間として受け入れてくださり、多くの皆様から支えていただいたことで、今日があると思っております。その点についても、私から感謝を申し上げたいと思います。

私は秋田工業高校在学中も建築科の方々を尊敬しており、建築に携わる方々のステータスは技術者の世界では象徴的であるほか、その仕事も非常に権威のあるものだと思っております。皆様におかれましては、これからも引き続き、社会のために貢献していただきますようお願いいたします。

結びに、秋田県建築士会のますますの御発展を祈念するとともに、何より会長に心から感謝を申し上げます、挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。



式典祝辞

秋田県建設部建築住宅課長 **土橋 吉秀**
(（一社）秋田県建築士会 相談役)

「一般社団法人 秋田県建築士会 令和7年度定時総会」が、滞りなく終了されましたこと、心よりお祝い申し上げます。

また、本日、永年功労の表彰を受けられました9名の皆様におかれましては、これまでの御功績に深く敬意を表しますとともに、今後、益々の御活躍を祈念申し上げます。

併せまして、皆様には日頃から、建築行政の推進に御理解と御協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

改めまして、今年度 建築住宅課長に就任しました「土橋」と申します。昨年度までの2年間、営繕課長

として、営繕行政の総括的な業務に携わっております。

今年度からは、建築行政全般を総括する立場となり、皆様には数多くお世話になることがあるかと思っておりますので、引き続き御指導・御鞭撻賜りますようよろしくお願いいたします。

さて、本県に限らず、全国では人口減少や高齢化の進展、それに伴う空き家問題など、解決すべき多くの課題が存在しております。

一方で、地震などの災害時における安全安心の確保も全国的な課題の一つとして捉えられております。

そのため、県では昭和56年以前に建築された「旧耐震基準」の建築物における耐震化の促進について、国土強靱化に資する施策であると考え、継続的に取り組んでいるところであります。

貴会が行っている、市町村を通じた木造住宅所有者へのワンストップの耐震診断士の派遣体制は、まさに防災・減災に寄与するための活動であることから、引き続き、御協力いただきますようよろしくお願いいたします。

次に、建築行政の最近の動きとしまして、本年4月から建築分野での省エネ対策の加速を目的として、改正建築基準法や改正建築物省エネルギー法が完全に施行されております。これにより住宅などを建築する場合の手続きなどが大きく変わっております。

ご存知のとおり、改正法の円滑施行に向けた取組として、一般財団法人秋田県建築住宅センター内に秋田県建築士サポートセンターを開設し、確認申請図書の作成などのサポートを行っております。皆様には是非御活用いただければと存じます。

また、建築士関係のデジタル化の動きとして、建築士名簿のインターネット閲覧が可能となっております。どのようなものか、ご自身を検索してみるなど一度体験してみたいはいかがでしょうか。

今後も、国が率先するデジタル化への動きを注視しながら、担い手が減少する中での持続可能な建築行政を目標に、時代や地域の実情に即した手続きや事務のあり方について検討してまいりますので、変わらず御協力いただきますようよろしくお願いいたします。

最後になりますが、一般社団法人秋田県建築士会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

本日は誠にありがとうございます。





総会会場



執行役員



淡路会長 開会挨拶



松本繁 議長



総会審議の様子



総会司会 清水川女性委員長



加藤副会長 総会閉会のことば



佐藤副会長 式典開会のことば



永年功労者表彰の皆様



永年功労者表彰



祝賀会 新執行部紹介



住宅センター中野理事長 乾杯



祝賀会会場



鈴木健太知事 飛び入りでコメント



淡路前会長へ花束贈呈



中西副会長 万歳三唱

令和 7 年 6 月 26 日の定時会員総会及び臨時理事会で 役員が改選になりました。 役員の皆様をご紹介します。

(1) 役員（理事及び監事）

役 職 名	氏 名	地域建築士会名
会 長	小田島 誠	仙北
副 会 長	中 西 純 悦	鹿角
	加 藤 一 成	秋田中央
	佐 藤 隆 志	湯沢雄勝
専務理事	松 橋 雅 子	大館北秋
常務理事	大 高 勇	能代山本
	佐 藤 吉 則	由利
	鈴 石 博 実	横手
理 事	戸 舘 康 博	鹿角
	三 浦 司	大館北秋
	櫻 庭 徹	能代山本
	赤 川 孝 則	秋田中央
	谷 口 満州美	秋田中央

役 職 名	氏 名	地域建築士会名
理 事	能 上 崇	秋田中央
	飯 尾 善 隆	由利
	斉 藤 英 人	仙北
	佐 藤 賢 一	仙北
	黒 田 稔	横手
	加 納 大 輔	湯沢雄勝
	小 原 正 明	連合会常設委員（秋田中央）
	加 藤 一 喜	青年委員長（能代山本）
	徳 光 慎太郎	青年副委員長（秋田中央）
	清水川 道 子	女性委員長（湯沢雄勝）
	安 達 真由美	女性副委員長（大館北秋田）
監 事	斉 藤 留美子	大館北秋
	山 脇 成 吉	湯沢雄勝
	門 間 朋 洋	会員以外

【役員の皆様からのコメント】



副会長
中西 純悦
(鹿角建築士会)

この度、本部副会長就任 2 期目となり、これまで以上に役員活動がどの程度貢献できるか分かりませんが今後とも微力ながら新会長を支えて行きたいと思っておりますのでみなさまのご協力をお願いするとともに、魅力ある建築士会、物言える強い建築士会を目指し頑張っていきたいと思ひます。



副会長
加藤 一成
(秋田中央建築士会)

この度、秋田中央建築士会より二期目の県本部役員として任命いただき、同時に副会長にも任命いただきました。小田島新会長を補佐しながら、県本部役員としての活動ができればと考えております。社会情勢的に、建築士会においても会員の減少により、会の運営や予算組みには苦労しておりまして、なかなか食い止める事が難しいところではあります。計画している事業など、会員交流の機会も大切にしながら会員数の確保、さらに防災や災害対応など、地域社会にも貢献することができるよう努めてまいりたいと考えております。また、会員の皆様にとって有益な情報提供や学びの機会を提供し、建築士としてのスキル向上をサポートしていきたいと考えております。



副会長
佐藤 隆志
(湯沢雄勝建築士会)

蝉の声が遠のき、夕暮れの空に赤が滲む。熱を帯びた日々が少しずつ影をひそめ、風は涼やかな調べを運んでくる。入道雲は形を崩し、どこか名残惜しげに消えてゆく。川辺には秋の虫が小さな声を奏で、草の香りは夏を惜しみながらも、新しい季節を迎える気配を帯びる。汗を拭った掌に残る塩の感触、眩しさに細めた瞳の記憶。花火の残像や、ひとときの祭りのざわめきが胸にやさしく沈殿する。去りゆく夏は確かにここにあり、そして未来へと受け渡されていく。

(2) 顧問、相談役、名誉会員

顧 問	工 藤 嘉 範	秋田県議会議長
	鈴 木 真 実	秋田県議会建設委員長
	小 竹 哲 夫	(一社) 秋田県建築士会元会長
	湯 沢 隆 市	(一社) 秋田県建築士会元会長
	淡 路 孝 次	(一社) 秋田県建築士会前会長
相 談 役	小 野 潔	秋田県建設部長
	土 橋 吉 秀	秋田県建設部建築住宅課長
	石 川 成	(一社) 秋田県建築士会前副会長
	田 仲 雅 美	(一社) 秋田県建築士会前副会長
	照 井 郁 人	(一社) 秋田県建築士会前副会長



専務理事
松橋 雅子
(大館北秋田建築士会)

大館・北秋田建築士会会長として二期目、また今年の総会より専務理事の職を拝命いたしました。これまで地元ファーストで取り組んでまいりましたが、全県各地域会の皆様とも交流を深め、当会の会員の満足度を高め更には県民に向けた情報発信等、微力ながら一助となれるよう努めたいと思います。また、まちづくり員会「福祉まちづくり部会」の地域リーダーとして、他県建築士会の取り組みなど情報収集し、秋田県民の暮らし、住まいの環境について、私たちができること、すべきことを探り、活動実践していくためのプラットフォームをつくれるように頑張ります。



常務理事
大高 勇
(能代山本建築士会)

今期も理事の皆様と充実した活動が出来ればうれしく思います。総務委員長を経て感じた事は会員増強に重点を置く事業等が必要だという事。「楽しくなければ〇〇じゃない」こんな標語を掲げる団体が沢山ありますが、何事も楽しく活動する事によって会員、賛助会員が増えるものと思います。前期に引き続き常務理事の役職を拝命し、小田島新会長の元で重責を担う事となります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



常務理事
佐藤 吉則
(由利建築士会)

事業委員会の運営におかれまして、皆様のご協力を頂き有難うございます。私は小さい頃プラモデル、木材を加工し茅葺の家・箱庭他作る事に興味を抱きました。これが建築設計業に結び付いた起点です。時には好奇心が探求心になり自転車で行く秋田～鹿児島～沖縄一周～石垣島一周（竹富・西表島）の旅を実行。京都には10日間留まり寺巡り。建築物には庭・木々があり環境の一体感が必要なんだとつぶやく。南下して行くとき四季を考えたその地域の建物の移り変わりがおもしろい。声を掛けてもらい民家に泊めてもらったり、お話しをしたり。実は途中ハガキを出し、高校時代に文通していた石垣島の女性と初対面したひと時がありました。元気かなあ～。43年前の若き甘酸っぱい思い出です。



常務理事
鈴木 博実
(横手建築士会)

横手建築士会会長として2期目の理事就任となりました。小田島新会長に協力して新たな秋田県建築士会としての活動に取り組みたいと思います。建築士会として全国初の歴史風致維持向上支援法人として横手市から指定を受け、指定法人としての活動が他の地域、他県への参考になるように進めたいと思います。県南、県北、中央地区の三か所で行われたヘリテージマネージャー養成講座の4回目の開催に向けて準備を始めます。また、昨年より動き出した東北ブロックでのヘリテージマネージャーの連携を充実させ、建築士会へ活動が平時のみならず、災害時の連携につながるような活動になることを願っております。どうぞよろしくお願いいたします。



理事
戸舘 康博
(鹿角建築士会)

長年に渡り秋田県建築士会を牽引下さった淡路前会長お疲れ様でした。この度、三期目の理事を務めることとなりました。私事ではありますが、無法的に造られた建物を見ると、地域における建築士のあり方を時々考えさせられる時があります。秋田県建築士会が少しでも良い方向に向かうよう、微力ながら尽力してまいりたいと思います。引き続きよろしくお願いいたします。



理事
三浦 司
(大館北秋田建築士会)

大館北秋田建築士会で専務理事を務めております、三浦です。役員として3年目を迎え、まだまだ慣れない点もありますが、小田島会長をはじめ諸先輩方にご指導いただきながら努めて参りたいと思っております。設計事務所という仕事柄、座りっぱなしで万年運動不足…。気づけば51歳。このままでは図面より先に体調が崩れそうだと危機感を覚え、一念発起してプールに通い始めました。まずは「1キロ完泳!」を目標に、運動不足解消に励んでいます(息継ぎの方が設計より難しい気もしますが)。建築士会では、地域イベントや市の「大館市まち・すまい協議会」への参加を通じて、建築士の知名度向上や地域貢献に取り組み、若手の仲間づくりに励んでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



理事
櫻庭 徹
(能代山本建築士会)

微力ながら建築士会の為に尽力できればと思います。何卒宜しくお願い致します。



理事
赤川 孝則
(秋田中央建築士会)

理事6期目になり、いつの間にか理事24名中最年長となってしまいました。ということで、役員として最後になるだろう2年間も新会長の元これまでと同様に職責を全うしてまいりますのでよろしくお願いいたします。



理事
谷口満州美
(秋田中央建築士会)

この度、二期目理事を務めさせていただく事になりました秋田中央の谷口です。建築士会に入会して二十数年になります。秋田中央支部では、青年部会長・会計理事・事業委員長を経て現在副会長を務めています。被災建物応急危険度判定士の派遣では、2004年10月に新潟県中越地震で長岡市と2011年4月には東北地方太平洋沖地震で宮城県女川町にて活動をしてまいりました。今後も、微力ですが建築士会の発展に貢献できればと思っておりますので宜しくお願い致します。



理事
能上 崇
(秋田中央建築士会)

この度、新しく理事になりました秋田中央建築士会の能上です。なんとなく会のなかでは若手のつもりでいたのですが、建築士会に入会してから20年近くが経過していることに驚きます。会員数の減少や高齢化など課題はあると思いますが、少しでも会員にとって魅力のある建築士会となるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



理事
飯尾 善隆
(由利建築士会)

由利建築士会の飯尾と申します。にかほ市で工務店をしております、当会に入会し20年目となりました。以前は青年委員会として活動させて頂きました。この度は理事としてお世話になります。微力ながら建築士会のために協力できればと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



理事
斉藤 英人
(仙北建築士会)

今年度より仙北建築士会会長として、理事を務めさせていただくことになりました斉藤です。これまで12年間地域会をけん引して頂いた前小田島会長、本当にありがとうございました。今後は、秋田県建築士会会長として頑張ってください。私も建築士会の発展に貢献できるように頑張りますのでよろしくお願い致します。



理事
佐藤 賢一
(仙北建築士会)

この度、理事を仰せつかりました仙北建築士会の佐藤です。秋田県建築士会に、どの程度貢献できるか判りませんが、精一杯勤めさせていただきます。よろしくお願いいたします。



理事
黒田 稔
(横手建築士会)

事業委員会役員として再任されました。重伝健地区のある横手市増田町に住んでいる関係で、地元の保育園や小中学校時代はそのエリアが通学路でした。いつも見慣れた街並みでしたが、今では特に伝統的な建造物には大変関心があり、「増田まちなみ研究会」の一員として修理修景事業に取り組んでいます。

また、一年に一度の内蔵の一斉公開イベントである「増田蔵の日」の実行委員長も務めております。今年で17回目となる蔵の公開ですが、これもまちなみ研究会の会員の協力を得ての開催です。

伝統的な工法による建物が日々失われていく中で、それを守る職人も失われていく時代の流れというものに、大変違和感を感じています。

いったん失われた無形の技術の復興にも頑張る思いでいます。



理事
加納 大輔
(湯沢雄勝建築士会)

この度、湯沢雄勝建築士会副会長として理事を務めさせていただくことになりました加納です。

建築士会に入会するメリットは何かと問われれば、良い出会いがたくさんあることだと、秋田県建築士会に入会して20年を迎えようとしている今、胸を張って言えます。

これまで出会ったみなさま、これから出会うみなさまと共に楽しく活動していければと思っています。

微力ながら秋田県建築士会の発展のために努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



理事
小原 正明
(秋田中央建築士会)

まちづくり委員長の小原です。早いもので、来年3月、東日本大震災から15年になります。現在、1月の「全国まちづくり会議」東北ブロック開催の準備をしているところです。建築士会がまちづくりを支援した女川町の復興状況や住民の話を聞き、今後の災害対応や復興支援に生かすのが趣旨です。当会でも女川町での被災建物応急危険度判定活動のほか、一昨年豪雨では秋田市等で浸水被害対応にあたりました。当委員会はまちづくり活動への参画・支援、連合会との連携による地域社会貢献が目的としています。これら防災まちづくりや、各支部や委員会、身近な取組みを全国に発信したいと考えておりますので、皆様からの情報をお願いいたします。



理事
加藤 一喜
(能代山本建築士会)

青年委員長を務めさせていただきます能代山本建築士会の加藤一喜です。三種町で工務店を営んでおり主に能代市から秋田市内を走り回っています。建築士会に入会し、いろんな方と出会うことができとても感謝しております。

また今年は秋田県、そして東北ブロックの代表として能代山本建築士会の地域実践活動を全国大会（おおさか大会）にて発表いたしました。応援、ありがとうございました。



理事
徳光 慎太郎
(秋田中央建築士会)

本年度より青年委員会の副委員長を務めさせていただきます、秋田中央建築士会の徳光慎太郎と申します。まだ入会してから日も浅く若輩者ではございますが、少しでも当会の発展に貢献出来ますよう努めて参ります。

ここ数年、県内の様々な現場や会社様へ訪問しておりますと、人手不足・担い手不足という共通の課題が未だ解決されていないことを改めて実感しております。当会も秋田県の人口減少と呼応するかの如く会員数が減少しているのが現状であり、この状況を青年委員会として少しでも打開すべく、若い世代へ向けたより魅力的な活動を展開していけるよう精進して参ります。皆様からのお力添え、何卒よろしくお願い申し上げます。



理事
清水 川道子
(湯沢雄勝建築士会)

女性委員長として理事に就任し2年、今年度も再任させていただくことになりました。この先はこれまでの経験を生かし活動に務めていきたいと思ひます。昨年は東北ブロック女性委員会秋田建物見学会を開催することが出来、東北6県の建築士の皆様と素晴らしい時間を過ごせたことに感謝しています。毎年恒例となった「親子体験学習」、また、学習会も内容を多彩に工夫し、会員に参加してもらえるよう基本的には楽しみながら時間を共有したいと思っています。どうぞ引き続きよろしくお願いいたします。ぜひ一度学習会に参加してみませんか。



理事
安達真由美
(大館北秋田建築士会)

女性委員会からの推薦で昨年度に引き続き任命いただきました。大館市の有限会社アトリエ建築設計室で一級建築士として設計・監理業務を行っています。建築士の業務の他、まちづくりや地域活性化への活動을続けており、近年ではヘリテージマネージャーの活動も増え、サステナブルな地域づくりを目指しています。



監事
齊藤留美子
(大館北秋田建築士会)

監事就任5年目となります。その間多くの役員の交代があり、移り行く建築士会に未来の希望を託すも、人口減少の壁がどこまで影響するかは未知の世界です。とは言え建築士の社会的役割は永久に続くことを思えば、建築士の未来は明るくあって欲しいものです。また、建築士の役割も多様化し、建築だけを考えていればそれでいいというものでもなくなってきていることも、現実突き付けられている課題です。まちづくりや景観、そして次世代エネルギー、ノーマライゼーションなど、誰一人取り残すことのない社会を構築することが求められている中において建築士の役割の重要性を感じています。最後に、これからの秋田の未来、そしてそれぞれの地域社会の未来を建築士会の皆様と共に考え続けられることと、更に多くの新会員を招いて、益々大きな和になることを願います。



監事
山脇 成吉
(湯沢雄勝建築士会)

令和7年度定時会員総会において監事に推薦され承認されました雄勝支部の山脇です。前年度も監事として理事会その他会議に出席し職務の執行状況において報告を受け重要な決裁書類等を閲覧し各々会場において業務及び財産の状況を調査しましたし会計帳簿に関する資料についても調査を行いました。令和7年度においても事業報告の付属明細書を3月31日まで監査したところであります。任期中は法人の状況を法令及び定款に従い監査したいと思いますので引き続きよろしくお願い致します。



監事
門間 朋洋
会員外(秋田県建設技能組合連合会)

この度、前任者に引き続き外部監事に選任となりました門間と申します。近年、子どもの将来就きたい職業の選択肢は以前に比べ多様化し、特に担い手不足が顕著である建築業界は、福利厚生費の確保など労働環境の問題が要因となり、本来ものづくりを通して得る仕事の楽しさや魅力が薄れつつあるように感じております。そのため、当連合会会員も関係団体と共にものづくりにふれあう機会と魅力を発信するイベント等に参加し、県内の小中学校を廻るものづくり体験教室や、ものづくりフェアで小さいお子さんや家族連れを対象に技能に対する理解、ものづくり産業の必要性・重要性を認識してもらえよう取り組んでおります。将来そうした体験をしたお子さんの進路として建築業界が選択肢の一つとなり、しいては建築業界並びに県建築士会の事業推進と発展のため、引き続き微力ながら協力して参りたいと思います。

また、同日各位委員会の委員が決まりましたので、併せてご紹介いたします。

令和7年度 (一社) 秋田県建築士会 委員会名簿

委員会名	委員長	副委員長	委員
総務	仙北 齊藤 英人	北秋 三浦 司	鹿角 金沢 拓
		中央 赤川 孝則	北秋 中川 義明
		仙北 佐藤 賢一	能代 佐々木政幸
			中央 能上 崇
事業	由利 佐藤 吉則	鹿角 戸舘 康博	由利 正木 和美
		中央 谷口満州美	仙北 栗津 憲靖
		横手 黒田 稔	横手 北嶋 清美
			雄勝 藤原 広幸
まちづくり	中央 小原 正明	歴町 松塚 智宏	鹿角 柳沢富美男
		福町 松橋 雅子	由利 周防 敦子
		空家 桜庭 徹	横手 遠藤 暁
		防災 佐々木昭仁	雄勝 清水川 隆
		木 長門 雅哉	

委員会名	委員長	副委員長	委員
青年	能代 加藤 一喜	中央 徳光慎太郎	鹿角 安保 尊
		雄勝 阿部 俊介	北秋 北村 公晴
			北秋 佐藤 雄大
			能代 板垣 秋範
女性	雄勝 清水川道子	北秋 安達真由美	中央 高橋 耕太
		中央 伊藤加久子	由利 大日向賢人
		由利 周防 敦子	由利 伊藤 祐一
			仙北 大友 崇嗣
			仙北 藤井 哲也
			横手 亀井沢洋平
			横手 岩村 優幸
			雄勝 本間 昌太
			北秋 熊谷 昌剛
			鹿角 石木まり子
			北秋 藤嶋 秀美
			能代 池田 佐保
			中央 樋渡 博子
			中央 須藤 亜紀
			中央 大滝恵里子
			仙北 小松 奈美
			仙北 小林 凡子
			横手 小幡 寛子
			横手 鎌田久美子
			雄勝 加納 静佳

※北秋：大館北秋田、能代：能代山本、中央：秋田中央、雄勝：湯沢雄勝

令和7年度通常総会 永年功労者表彰



山口 昭彦

地域会名 鹿角建築士会
勤務先(名称) 株式会社田中建設
(住所) 鹿角市花輪字大川添 26
趣味 盆踊り、草刈り
コメント

この度は永年功労者表彰をしていただき、誠にありがとうございます。
 士会入会当初は、設計事務所に勤務しており、様々な活動に参加させていただき大変勉強になっておりました。
 現在は、木造住宅建築、リフォームの仕事に携わっておりますが、本年4月から施行の改正建築基準法の対応に四苦八苦している状況です。



島内 昭博

地域会名 大館北秋田建築士会
勤務先(名称) 三浦木材株式会社
(住所) 大館市上代野
趣味 ゴルフ
コメント

このたび、永年功労者表彰をいただき、大変光栄に思っております。
 入会してから39年、秋田県建築士会の一員として、地域の皆さまと共に建築文化の向上に努めてまいりました。建築士としての責任と誇りを胸に、日々の仕事を通じて、皆さまの暮らしがより豊かになる建築を追い求めてきたことがこのような榮譽につながったと、心から感謝しています。これからも、建築士会の一員として地域社会に少しでもお役に立てるよう、努力を続けてまいります。今後ともご指導、ご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



小林 俊也

地域会名 能代山本建築士会
勤務先(名称) 有限会社宝建工業
(住所) 能代市浅内字船沢 74-12
趣味 レコード鑑賞、旅行
コメント

この度は永年功労者表彰を頂き誠にありがとうございました。
 平成9年に入会し、諸先輩に比べればまだまだ日の浅い私が表彰のお声を頂いた事に戸惑いもありましたが、皆様のご厚意とありがとうございました。私は建築鉄骨と農業施設の設計に携わっております。建築士会へ入会し多くの方々と知り合え、広く建築技術を知り情報共有できた事は私にとってかけがえのない財産となっています。少子高齢化の時代、会員拡大や組織運営など課題も多いですが、微力ではありますが、これからも支部の発展に貢献できるよう努めてまいりたいと思います。最後に秋田県建築士会の益々の発展を祈念し、お礼と致します。



佐藤 重明

地域会名 秋田中央建築士会
勤務先(名称) 藤重建設株式会社
(住所) 秋田市土崎港相染町字浜ナシ山 62
趣味 マリンスポーツ

コメント

この度は、永年功労者表彰を頂き大変光栄に思います。
入会后 24 年間、建築士会の様々な活動を通して、多くを学ばせてもらい、会員の皆様と信頼関係を築くことができ、とても感謝しています。
印象深いのは、記憶に新しい 2022 年あきた大会の開催にあたり、一兵卒として後方支援し、同大会が盛会裏に終えられたことです。また、美の国あきたが、全国の建築士の皆様方の胸に、深く刻みこまれたことと思います。(打ち上げ会の beer、至極の一杯が乾いた喉を潤し、最高でした。)
各大会等の参加は、見聞を広める貴重な機会と捉えており、お蔭様をもちまして、ここ近年の全県大会、全国大会の出席率は 100% です。
これからも自己研鑽を積み、建築士会のさらなる発展を願い、微力ながらご協力していきたいと思ひます。



畑山 広英

地域会名 秋田中央建築士会
勤務先(名称) 畑山住宅株式会社
(住所) 秋田市東通 6 丁目 6-6
趣味 旅行、ウインドサーフィン

コメント

この度は永年功労者表彰をいただきまして誠にありがとうございました。
振り返りますと、親族会社を事業承継するという軽い気持ちでこの世界に入りましたので、何かと厳しい建築という仕事が自分に向いていたのか未だ疑問な部分がございます。それでも 40 年近く仕事を続けてこれた事に「仲間や施主様に恵まれた」という感謝しかございません。私を育てていただいた建築士会の益々のご発展をお祈り申し上げます。



藤丸 和幸

地域会名 由利建築士会
勤務先(名称) 有限会社藤丸工務店
(住所) 由利本荘市東梵天 47-3
趣味 スポーツ観戦、読書

コメント

今回、永年功労表彰の栄誉を賜りまして、ありがとうございました。
会に特別の功績もなく恐縮でございます。
建築の仕事は祖父より、父、私と三代目でございます。その事が表彰対象になったのではと申される方もおり、亡き祖先に感謝しております。祖父がよく口にした事は「職人は晩年の生活があまり良くない」一生懸命に働く事ができたのも、この言葉が残っていたからと今、改めて思い出します。
新しい工法に取り組み、開拓してきましたが、何よりも人間性を道徳的に高めることの大切さを今思ひます。



小 林 康 彦

地 域 会 名 仙北建築士会
勤務先(名称) 株式会社エムシーエー建築設計
(住所) 大仙市大曲飯田町 1-8
趣 味 野球観戦、温泉めぐり

コ メ ン ト

この度は、永年功労者表彰を頂き誠にありがとうございます。

建築士になって 45 年になります。

建物の設計、工事が完成するまでは大変苦労の連続ですが、建物が何十年も残り、いろんな人々に利用され、笑顔をもたらす姿を見ることに喜びを感じます。これからも体力がつづくかぎり頑張ろうと思います。

建築士会の益々のご発展をご祈念し、御礼申し上げます。



高 橋 敏

地 域 会 名 横手建築士会
勤務先(名称) 高橋建築
(住所) 横手市大森町上溝字白山下
趣 味 家族の許容範囲内の車とゴルフ

コ メ ン ト

私が士会に入った時は、私の町だけでも多数の会員(多くは大工)がいましたし入会するのが当然であった様に思い入会した記憶があります。しかし今は、町内での会員は、わずか 3 名(今年 64 歳で最年少)。

これからも自分が確認申請を作成提出できる限りは士会にとどまり、協力サポートしていきたいと思います。

永年功労者表彰、誠にありがとうございました。



山 脇 一 樹

地 域 会 名 湯沢雄勝建築士会
勤務先(名称) 合名会社ヤマワキ建設
(住所) 湯沢市柳町 1-2-5
趣 味 写真撮影

コ メ ン ト

何も解らないまま資格取得後に入会。入会後は、幽霊会員に近いものだったが、突如青年部長に抜擢され、そこから本格的な士会活動を始められた気がする。その年に参加した事もないスポーツ大会の主管を任され、悪戦苦闘しながら遂行した事が今となっては良い思い出である。県青年委員長も務めさせて貰い、大変良い経験を多く積ませて頂いた。支部はもとより県全域、東北各地に知り合いが出来、公私共に今でも大きな財産となっている。

東京のゼネコンで現場勤務後 27 歳で帰省したが、二年後に先代社長(父)の他界で木造主体の工務店を継いだ。木造の経験も浅く、設計の実務や資格も無い状態でのスタート。士会の先輩方の指導のお陰でここまでやって来れました。士会には本当に感謝しています。

新入会員紹介

新入会員からのメッセージ

正 会 員



秋田中央建築士会
小山田雄太

勤務先：山二建設資材株式会社

この度ご入会させていただきました小山田雄太と申します。

山二建設資材にて営業を担当しております。

建築士会の活動を通じて、諸先輩方より新たな知識や刺激をいただき、交流を深めながら自己のスキルアップに努めていきたいと考えております。

これからよろしくお願いいたします。



秋田中央建築士会
木村 昌貴

勤務先：irie 株式会社

はじめまして、この度入会させていただきました irie 株式会社の木村と申します。出身は新潟県村上市というところで、秋田での暮らしは今年で 14 年になります。どちらも大好きな地元です。

建築士会の皆様との交流や活動を通し、新しい出会いや刺激が楽しみです。ものづくりを活かして地域に貢献できるよう努めてまいります。ご指導ご鞭撻も含めまして、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



仙北建築士会
齊藤 洋

勤務先：有限会社館設計一級建築士事務所

今年より仙北建築士会に入会させていただきました齊藤と申します。

現在、打ち合わせや設計監理等より内容を教えていただいております。打合せの段階から多くのご助言をいただいております。

皆様には日々助けていただいております、各方面の方々には感謝の念に堪えません。まだ知識・経験ともに浅く、ご迷惑をお掛けしておりますが 1 日でも早く多くの貢献ができるよう、より一層精進して参ります。

見かけましたら是非お声がけしていただければ大変嬉しく思います。今後ともよろしくお願いいたします。



横手建築士会
小野 誠

勤務先：小野設計事務所

この度入会させて頂きました小野 誠と申します。

横手市に設計事務所を設けて仕事をしています。

まだ始めたばかりで至らぬ点は多々あるとは思いますが、皆様から色々と学びながら努力していきたいと考えています。

ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

賛助会員

(有) 奥村電気工事・(有) 海沼電気工事・(有) 児玉設備工業・(有) タカヤ電工舎《鹿角》、かしわ・金田販売・ティンバラム(株)・東北環境消毒(有)・(有) 安田保険システム・平和建設(株)《大館北秋田》、(有) エムライト工業・(株) 田村塗装店・(有) 平川建材・(株) Max creative・山二建設資材(株) 能代営業所《能代山本》、小松ウォール(株) 盛岡支店・(有) 村田弘建築設計事務所《秋田中央》、羽後電設工業(株) 横手営業所・山二施設工業(株) 横手支店《横手》

◆令和7年度 秋田県建築士会「建築士の日」

記念事業 実施報告書◆

建築士の活動を広く社会にアピールし建築士資格の地位向上に繋げていくことを目的に7月1日を「建築士の日」とし、全国一斉に記念事業が展開されました。当県においては、次のとおりの各事業を実施いたしました。

記

◇主催：（一社）秋田県建築士会 事業委員会 協力：秋田中央建築士会

◇日時：令和7年7月26日（土）

◇会場：秋田市民交流プラザ アルヴェ 2階 多目的ホール

◇「建築士の日」記念事業実施内容

1) 親子体験学習（青年委員会担当） ※担当：仙北建築士会

- ・10：00～12：30
- ・椅子の組み立てキットを製作
※杉材を事前加工し、親子で組立を行う補助を実施
- ・参加者：親子29組 67名

2) 記念講演

- ・13：30～15：00 《CPD2単位》

「地球科学者はマイホームをどこに建ててるのか？」

—秋田の土地のでき方と地盤環境、土地の災害環境の調べ方—

講師 林 信太郎 氏

講師プロフィール

- ・秋田大学名誉教授 火山学者、秋田県文化財保護審議会委員
- ・秋田魁新報社 子ども新聞「地球の不思議」連載中
- ・NHK「ブラタモリ」で秋田案内人として3回登場

- ・聴講者：67名 （※一般参加者3名）

3) 建築相談会

- ・10：30～13：00
- ・相談員：建築住宅センター職員、及び事業委員
- ・相談件数：0件

◆親子体験学習◆





◆記念講演要旨◆

1) 土地と災害その基本の「き」

さいしょにその土地の災害環境をおおまかに考えます。そこが、山なのか、丘なのか、平地それぞれの災害環境を考えましょう。

秋田県の場合は、日本一の火山、十和田湖を抱えていますので、火山のお話もしたいと思います。

- ・ **山**：急傾斜地が多い。したがって、地すべりや土石流・崖崩れの発生の可能性がある。ハザードマップをチェックしましょう。「雨降って地すべり」ですので、大雨が来る時、それも特別警報が出た時は、とりあえず避難してしまうのが正解です。
- ・ **平地**：秋田平野のような平地は、洪水で運ばれた土砂でできています。ですから、洪水が起こります。地震の時には液状化現象も発生します。また、平地で海岸の近くは津波のリスクが高いのが特徴です。

- ・ **丘** : 日本の土地の中でいちばん安全なのは丘の上です。丘になっているところは、段丘といって土地が盛り上がってできたものです。かつては川が作った土地ですが、できてから何万年も立っていますので、たいへん安定した土地になっています。しかも、まわりよりも高いところにあるので、洪水や津波に強いのもその特徴です。秋田市では桜と御所野は丘の代表です。
- ・ **火山** : 十和田火山が噴火すると、大館・北秋田市・能代などに、火山泥流がやってくる可能性があります。火山泥流は、別名、山津波ともいいます。火山の土砂が水と入り混じって流れてくる現象です。噴火が起こる。その熱で積雪がとける。水と火山灰やその辺の土砂が混じり合って流れ出しておこります。たいへん遠くまで流れていくという現象です。津波並みに危険ですので、火山ハザードマップの確認と、いざという時は火山泥流がきそうなところにいる方は、「さっさと避難」するようにお願いします。

2) 土地の災害環境についてのアドバイスの実例

地球科学者として個人的にアドバイスしてきた内容を紹介します。学校の災害環境は教師になった教え子たちに。住宅の災害環境については、親戚がアパートを借りるときのアドバイスをお教えします。使うツールは、ほとんど「地理院地図」と「重ねるハザードマップ」ですが、これについては後ほどお話しします。

3) 秋田市の土地はどうやってできた？

じつは、最近（数十万年間）の地球は氷河期です。氷河期といっても本当に寒い氷期と小春日和のような間氷期があります。もちろん、今は間氷期。この二つがここ数十万年はリズムカルに繰り返しています。また、秋田平野の地下には巨大な谷が埋もれていることがわかっています。この谷はどうやってできたのか解説します。

4) エッキーで液状化の実験

秋田平野は地盤が緩いので、液状化現象がおきやすい土地です。液状化現象は地震の時に起きますが、どのように起こるのか実験で見てみましょう。

5) 土地の災害環境を調べるための「神ツール」

- ・ 地理院地図と重ねるハザードマップ

土地の災害環境を調べるために私がいつも使っている地理院地図の使い方と重ねるハザードマップの使い方を紹介します。

使う情報は、

- ・ 地理院地図：色別標高図，年代別の写真，治水地形分類図，活断層図
<https://maps.gsi.go.jp/>
- ・ スーパー地形：(上記の地理院地図データ)+大規模盛土造成地，戦前地形図 (iPhoneアプリ)
- ・ 重ねるハザードマップ：洪水・内水，津波，土砂災害
<https://disaportal.gsi.go.jp/maps/index.html>
- ・ 自治体のハザードマップ情報：「自治体名+ハザードマップ」で検索



地理院地図



重ねる
ハザードマップ





◆「建築士の日」記念事業 第2部：会員親睦事業◆

昨年の「建築士の日」記念事業において全県の会員同士の交流が図られて大変有意義であったとの声が多数ありました。昨年同様、記念事業の第2部として地域対抗のボウリング大会と懇親会を開催されました。

◇15：30～17：30 地域対抗ボウリング大会

会場：ロックンボウル（秋田市広面）

◇18：30～20：30 懇親会

会場：BILLION HOUSE（秋田市中通）

ボウリング大会には各地域会から12チーム、総勢58名が参加し熱い戦いが行われました。一人2ゲームの合

計で争われ、女性には40点のハンディが与えられました。

結果は、大館北秋田①チームと②チームのワンツーフィニッシュとなりました。

【成績】

団体の部 優 勝 大館北秋田①チーム
 準優勝 大館北秋田②チーム
 第3位 仙北①チーム

個人の部 第1位 安倍 直樹 (大館北秋田①)
 第2位 中西 純悦 (鹿角)
 第3位 三浦 祥平 (大館北秋田②)
 第4位 川本 一義 (横手)
 第5位 石川 成 (大館北秋田②)

ボウリング大会終了後、表彰式を兼ねた懇親会が開催されました。



まちづくり委員会

まちづくり委員会の活動について

(一社) 秋田県建築士会 まちづくり委員長 小 原 正 明

令和7年度の事業計画や建築士会連合会・東北ブロックまちづくり委員会の活動予定等をお知らせします。事業計画に基づく取組みの充実を図りますので、会員の皆様にも活動の促進や情報提供をお願いいたします。

【まちづくり委員会令和7年度事業計画】

- 1 まちづくりに関する諸会議、講演会、事業等の開催及び参画
- 2 地域歴史文化遺産保全活用推進員（ヘリテージマネージャー）の活動支援
- 3 各まちづくり活動及び成果発表の支援

1 まちづくりに関する諸会議、講演会、事業等の開催及び参画

当委員会は、地域におけるまちづくり活動への参画、企画支援の推進、建築士会連合会のまちづくり活動と連携を図ることにより、地域社会へ貢献することを目的としています。

- (1) 「第67回建築士会全国大会おおさか大会セッション」への参加促進

各セッションは、建築士・建築士会による地域に根ざした日頃の活動成果の発表・交流の場として開催されます。まちづくり委員を中心に、当会会員のセッション参加促進を図ります。

・令和7年9月19日(金) 建築士会全国大会おおさか大会まちづくりセッション(大阪)

- (2) 「第34回全国まちづくり会議inみやぎ」への参加促進

来年3月、東日本大震災から15年目となることから、1月に「全国まちづくり会議」を宮城県で開催します。東北ブロック内の開催であり、震災対応に関わった会員もいることから、参加促進を図ります。

・令和8年1月30日(金)～31日(土) 第34回全国まちづくり会議inみやぎ(仙台市、女川町等)

- (3) 建築士会連合会まちづくり委員会等への参加(全国大会、全国まちづくり会議を除く)

令和7年4月25日(金) 建築士会連合会まちづくり委員・6部会長合同会議(WEB)

令和7年5月8日(木) 秋田県建築士会まちづくり委員会(WEB)

令和7年5月30日(水) 建築士会連合会東北ブロック会まちづくり委員会(WEB)

令和7年7月10日(木) 建築士会連合会第13回まちづくり賞第一次選考会(東京)

令和7年7月10日(木) 建築士会連合会第1回まちづくり委員会(東京)

令和7年9月2日(火) 建築士会連合会まちづくり委員・6部会長合同会議(WEB)

令和7年9月18日(木) 建築士会連合会第13回まちづくり賞発表会&公開選考会(大阪市)

令和7年10月～11月 秋田県建築士会第2回まちづくり委員会(秋田市) [予定]

令和7年11月～12月 建築士会連合会東北ブロック会第2回まちづくり委員会(仙台市) [予定]

令和8年1月29日(木) 建築士会連合会第2回まちづくり委員会(仙台市) [予定]

令和8年2月～3月 秋田県建築士会第3回まちづくり委員会(WEB) [予定]

2 地域歴史文化遺産保全活用推進員（ヘリテージマネージャー）の活動支援

- (1) 歴史的建造物保存活用関連団体とのネットワークの構築

連合会に歴史まちづくり部会があり、47士会に地域リーダーがいます。全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会、あきたヘリテージマネージャー協議会、増田まちなみ研究会、大館歴史的建造物研究会、秋田中央地区ヘリテージマネージャー連絡会などの関連団体とネットワークの構築を図ります。

- (2) 歴史まちづくりセッション、全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会参加促進

全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会への参加促進を図ります。

・令和7年9月18日(木) 全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会(大阪)

- (3) 保存に値する建物取壊し計画等の情報提供依頼について

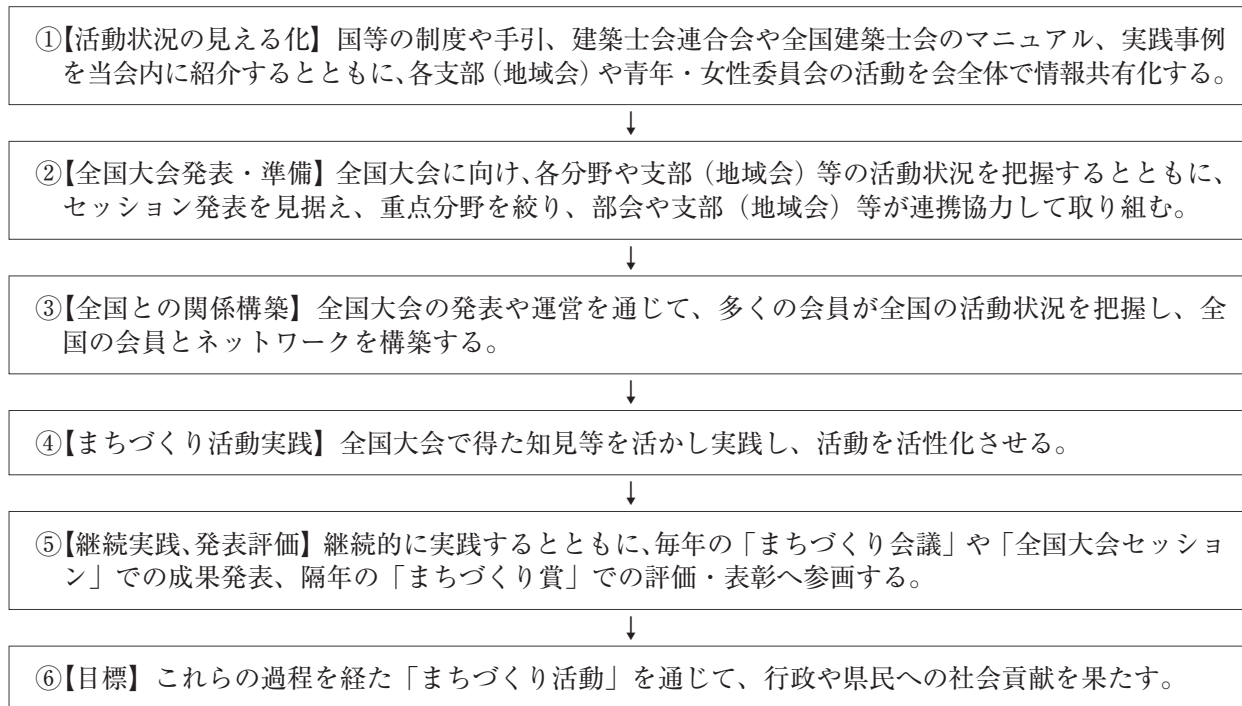
能代市の旧仁鮎小学校について、建築学会秋田支所から、学会としての動きが遅く、要望書提出が解体着手間際になった反省から、今後、このような事態になる前に早く情報を入手するため、各団体と連携を図りたいとの話があり、建築士会会員およびヘリテージマネージャー関係団体に、秋田県内で保存に値する建物取壊し計画等の情報を察知した際の速やかな情報提供を依頼します。

3 各まちづくり活動及び成果発表の支援

- (1) 各まちづくり活動の支援

当会のまちづくり活動についてはこれまで、支部や委員会を中心に活動しています。これまでの事業の継続・発展のため、国等の制度や手引、連合会や全国士会のマニュアル、まちづくり賞応募活動やセッション発表の活動等、実践事例を紹介し、活動を支援します。日頃の業務の中で「景観」「防災」「歴史」「街中（空き家）」「福祉」「木」等のまちづくりの切り口を意識した取り組みをお願いします。

〔まちづくり委員会の活動イメージ〕



（2）全国、各支部（地域会）との関係の構築（まちづくり情報の縦・横展開）

当委員は各支部推薦の委員であり、連合会部会地域リーダー6名、部会委員4名がいます。連合会からの情報の受け手であると同時に、発信者の立場でもあり、各連合会部会資料や重要な情報について、東北ブロックの各部会地域リーダーおよび当会まちづくり委員、各支部（地域会）への情報提供を図ります。

（3）「第13回まちづくり賞」の応募促進および応募活動事例の紹介

隔年開催の「まちづくり賞」が、今年3月募集開始、6月30日応募締切り、7月10日第一次選考会、9月18日発表会・公開選考会 9月19日全国大会おおさか大会式典での表彰の日程で行われています。

応募は日頃の活動の成果を全国に発信できるチャンスであり、評価・表彰されることで会員の地域まちづくりへの意欲を高める効果が期待されます。当会内で広く募集したところ、1件の応募がありました。

7月10日に第一次選考会があり、残念ながら公開選考会に進む8件に入ることができませんでした。

全審査員の総合点の順位は第一次選考会通過者に次ぐもので、個人講評では高く評価する意見を述べた審査員もあり、今後の活動の励みになるものと思います。応募資料は次のとおりです。

「第13回まちづくり賞」応募活動事例の概要

〔まちづくり事例の名称〕	「浸水被害対応と防災まちづくり」
〔まちづくり活動団体の名称〕	秋田県建築士会 浸水被害対応チーム
〔まちづくり活動の目的〕	安心／安全、防災まちづくり
〔まちづくり活動の特徴〕	令和5年7月に秋田県内で発生した大雨による住宅の浸水被害に建築士が迅速に対応し、復旧に貢献した。
〔推薦建築士会又は建築士名〕	（一社）秋田県建築士会 まちづくり委員長 小原 正明
〔まちづくり賞への推薦理由〕	本活動は専門性を活かした迅速かつ確かな対応であり、秋田県内の浸水被害地域において、被災者支援と地域防災力の向上に大きく貢献した。活動で得た知見・ノウハウは今後の災害対応や防災教育、地域の防災まちづくりの継続的発展に活かされるものであり、今後も建築士がその中核として持続的に活動することを期待して推薦するものである。

「第13回まちづくり賞」応募活動事例

「浸水被害対応と防災まちづくり」

1 はじめに

令和5年7月、秋田県は梅雨前線の停滞により記録的な大雨に見舞われ、秋田市を中心に広範囲で甚大な浸水被害が発生。6地点で72時間降水量が観測史上最大、16河川が氾濫、市街地で大規模な内水氾濫が同時発生した。住家被害は秋田県全体で全壊11棟、半壊約2,900棟、床上浸水720棟、床下浸水約3,700棟。被害額約1,400億円と統計開始以来最大の被害。



【大平川の氾濫（2025.7.16 秋田魁新報）】

この未曾有の災害に、建築士は防災まちづくりの観点から極めて重要な役割を果たした。

2 建築士の主な活動内容

（1）被災住宅の相談窓口の設置と対応

秋田県建築士会設置の「浸水被害住宅相談」窓口には12名の建築士が相談員として登録。住宅の損傷状況確認や修繕・再建方法のアドバイス、支援制度の案内など、被災者に寄り添った支援を実施。

（2）技術的支援と情報提供

日本建築士会連合会の『浸水被害住宅の技術対策マニュアル』を活用し、現場での復旧・改修に関する技術的助言やノウハウを提供。専門知識を活かした支援を展開。

（3）現地での住宅調査・アドバイス

・建築士が現地で住宅の損傷状況を調査。適切な補修方法や構造・衛生面での注意点を被災者に説明、復旧作業を支援。



【浸水高さの確認 80cm（和室）】

- ・乾燥が不十分な状況で工事を行うと後に『カビ発生』のおそれがある。十分な乾燥を推奨。



【和室壁】カビ発生の状況



【和室床下】送風機による乾燥処置状況

- ・復旧は汚損建材の交換が原則。工事範囲を広く検討、予算等に合わせた調整が効果的。
- ・繊維壁は撤去後、化粧合板への復旧も効果的。
- ・見積書は部屋の床・壁・設備等を部屋や部位ごとに2者に依頼。予算に応じた検討を推奨。
- ・設備工事は、建築施工者への一括依頼が気苦労の軽減、工程調整に優位。推奨。
- ・手順は①見積依頼。工事範囲確定。業者決定。②《応急処理》範囲の解体。③気候が落ち着いた頃

《本格復旧》・消毒を推奨。

- ・ 今後に備え、生活に支障のない範囲でできるだけ高い位置へのコンセント設置を推奨。
- ・ 今後に備え。各部屋への点検口の複数設置は、浸水後の状況確認や乾燥促進に効果的。

(4) 五城目町での応急修理申請確認への協力

五城目町では建築士（3名）が町職員と協力し、申請書類添付の見積書の確認作業など、専門性が調査の公平性・迅速性に寄与した。住家被害認定調査を実施。被害区分を判定し、り災証明書発行や支援金申請の根拠を提供。

(5) 復旧に携わる建築士等への啓発

令和5年8月、秋田県建築士会主催説明会（78名参加）開催。復旧方法や技術留意点、過去の教訓等を学習（78名）。動画や資料をオンラインで公開。マニュアル500冊を無料配布。



『『浸水被害住宅の技術対策マニュアル』説明会』

(6) 東北各県での講習会開催への協力

行政防災部局の職歴、防災士の建築士が東北各県の講習会講師を務め、マニュアル普及・啓発に貢献（福島・青森・山形・宮城）。

3 活動を通じて明確になった課題等

(1) 建築上の課題

- ア 住宅の部材が吸水で劣化・損傷しやすい
- イ 設備的な損傷で衛生・安全確保が困難
- ウ 浸水や地盤液状化で傾斜・基礎沈下発生
- エ 大規模災害時は被害認定調査や罹災証明発行の業務量が行政能力を超過

(2) 対策・改善策

- ア 部材別の損傷判定と技術マニュアル活用
- イ 建築士等の参画で調査精度・迅速性向上
- ウ 調査員間の情報共有や判定基準の統一

エ 復旧時の注意点を説明し、二次被害防止

(3) 支援体制の課題

- ア 迅速困難な支援体制構築や相談員養成
- イ マニュアルや資料の入手・周知に手間
- ウ 相談窓口利用、役割分担、現地対応人員

4 今後のまちづくり・防災への展望

- (1) 設計・施工段階からの浸水対策の徹底
- (2) 地域特性を把握しリスクに応じた設計
- (3) 防災計画との連動、住民への情報提供等
- (4) 復旧も見据えた住まいづくり
- (5) 行政と連携した事前防動、復旧支援、啓発

5 波及効果と継続性

- (1) 取り組みは、住宅・生活再建を支え、防災まちづくりのモデルとなった。技術マニュアルや相談窓口の普及は他地域にも波及し、全国的な防災ネットワーク強化に寄与。
- (2) 活動で得た知見・ノウハウは今後の災害対応や防災教育、地域まちづくりの継続的发展に活かされている。

6 まとめ

令和5年7月の秋田県大雨災害における建築士の活動は、専門性を活かした迅速・的確な被災者支援と地域防災力の向上に大きく貢献した。今後も建築士は、地域に根ざした防災まちづくりの中核として、持続的な活動を展開していく。

(公社)日本建築士会連合会 東北ブロック会青年建築士連絡協議会 第14回東北ブロック青年大会 あきた大会

(一社) 秋田県建築士会青年委員長 加 藤 一 喜

令和7年3月15日(土)に秋田市文化創造館にて第14回東北ブロック青年大会あきた大会が東北6県より116名の参加となり盛大に開催されました。

大会テーマを『建築で挑戦! 郷土のこれから ~伝統工芸と建築の融和を考える~』とし、2年前の全国大会あきた大会のテーマを引き続け掲げることで、現在も挑戦し続けているという事を強調した大会にしたいという思いを込めました。

ご来賓を招いての大会式典後に、令和7年度の全国大会で発表する地域実践活動報告の東北ブロック代表を決める報告会があり、当県の今年度担当である能代山本建築士会が「市のイベント時に歩行者天国となった道路に柱建てをして、その後に餅をまいて楽しんでもらえた」という地域での活動を発表しました。選考方法は、参加者が投票フォームにて投票し、それを受けて選考委員が協議の上、東北ブロック代表者を選考します。その結果、当会が東北ブロックの代表として全国大会おおさか大会で発表することで選考されました。

続いて行われた大会イベントの基調講演は、秋田公立美術大学の菅原香織准教授から「伝統工芸と建築の融和とは」と題して、会場に隣接するあきた芸術劇場ミルハスの随所にちりばめられている樺細工や川連漆器、大館曲げわっぱなどの伝統工芸品について、建築と融合させて秋田の魅力を引き出すという内容でご講演いただきました。

続いてのトークセッションではご講演いただいた菅原先生の他、(有)栗久の栗盛俊二氏、(有)富岡商店の富岡浩樹氏、(株)佐藤商事の佐藤慶太氏に登壇していただき「伝統工芸と建築のこれからを考える」というテーマで大変興味深いお話をして頂き好評を博しました。

場所を変えての懇親会では、用意した県内の銘酒の他に各県からの差し入れの日本酒なども堪能し、友好を深め盛会にて終えることができました。



会場：秋田市文化創造館



各県地域実践活動報告会



秋田公立美術大学 菅原准教授の基調講演



伝統芸能パネリスト (トークセッション)

青年委員会

「建築士の日」

親子体験学習 ～つくってあそぼう 親子木工教室～

(一社) 秋田県建築士会青年委員長 加 藤 一 喜
仙北建築士会青年委員長 大 友 崇 嗣

今年も7月6日(土)に建築士の仕事の認知向上を図る為有志により親子体験学習を開催しました。

今回は仙北支部建築士会が企画と準備、そして当日の運営を各支部有志との協力で行いました。使用したものは、あらかじめ加工されて、ビスや釘を打つ箇所には下穴が開けられている杉材をかなづちやインパクトドライバーを使いミニチェアを親子で組み立てます。作業手順ですが最初は建築士会有志が教えながら組み立てていきます。慣れてきたらそ



こからは親子で相談しあいながら一緒に完成させます。

初めて使うかなづちやインパクトドライバーでしたが、お父さんが手を添えて子どもを手伝ってあげたりしていました。一組、指導、作成まで約30分程度の時間で予定通りに進める事が出来ました。木に触れる感触、におい、苦労しながらも完成した時の達成感や満足感を感じてもらい、建築に携わるすべての工程に、魅力を感じてもらえたら幸いです。



R6年度 第3回女性委員会学習会「折り紙建築に挑戦」に参加して

横手建築士会 鎌 田 久美子

私が初めて折り紙建築に触れたのは、数年前に子供と参加した「つくってあそぼう」という行事でした。子供以上に興味を持ち、目を輝かせた事を今でも覚えています。

折り紙建築は茶谷正洋教授によって考案され、1981年、紙を切ったり折ったりしてユニークで面白いポップアップカードを作成する試みを始めたのが、折り紙建築の始まりです。折り紙と切り紙の技法、および建築デザインの経験を駆使して、光と影のなす印象的で複雑な模様を生み出しました。（当日資料より）

今回、横手建築士会会長鈴石博美氏を講師にお迎えし、折り紙建築の制作に挑戦しました。

鈴石氏より型紙制作のお話や活動、そして12年間にわたり干支カードを年賀のご挨拶として作り続けているというエピソードを伺い、とても感銘を受けました。実物を頂きましたが、細部まで行き届いたデザインはとても素晴らしい作品でした。

いよいよ制作に取り掛かります。今回、秋田市立図書館明德館と横手市増田まんが美術館の2種類が準備されました。私は地元である増田まんが美術館を選びました。

折り紙建築を何度か目にしているものの、今回が初めての制作です。久々の細かい作業と、紙をカッターで切る工程に悪戦苦闘しました。力の加減が難しいため紙が切れず、2度切り部分はブサブサになり、窓のアーチはガタガタに……。近くで見ると粗は隠せませんが、離れて見る分には上々の出来に仕上がりました。

今回の活動を通し、「建築の魅力発信はどんな方法でもアピールできる」と感じました。基本白紙で制作するため、ベースの白に立体が浮かび上がることで建築の凛とした美しさが際立ちます。その一方で、色彩や周囲の景色など、想像を膨らませる楽しさも味わえると思いました。今一度、建築デザインに向き合えた時間になり、再考する機会になりました。

また、和やかな雰囲気の中、談笑を交えながら楽しい時間を過ごすことができ、女性委員会の皆様の明るさとエネルギーにも励まされました。ありがとうございます。

これからも、このような体験を通し思考を深め、自身を向上させる機会にしていきたいと思います。



令和7年度女性委員会 第1回学習会に参加して

テーマ:「災害に備えるための二つのお話しーあなたの家の災害環境,噴火サバイバルガイド」

仙北建築士会 小林 凡子

令和7年度の第1回学習会は、講師に秋田大学名誉教授・火山学者の林信太郎先生をお招きし、災害に備えるためのお話をいただきました。多趣味のほか、ジオパークのアドバイザーなどの活動もされているとのこと、自己紹介から始まるお話がすでに面白く、とてもユニークな先生でいらっしゃいました。

テーマにあるように1つ目は家の災害環境について、先生のご家族の引っ越しの際に、土地の災害環境についてどのように調べたのかを紹介してくださいました。自然災害によって被害が想定される範囲を単にハザードマップで確認するだけではなく、土地の過去の災害は地形に記録されている、つまりそれを知ることによって将来の災害を読み取れるという林先生ならではの視点でお話をしてくださいました。そして、山・丘・平地に分類される地形によって起こりうる災害の違いを地形の特徴と共に示していただき、災害の中でも土砂災害、特に山における地すべり・土石流・崖崩れなど危険箇所や被害が想定される区域について地形図から読み取って解説してくださいました。白神山地は地すべりの作用で豊かな山になっていると聞き、地すべりのスケールの大きさに驚きました。「雨降って地固まる」ではなく、「雨降って地すべり」との学びの言葉もいただきました。まさにその通りですね。また、国土地理院地図の情報や重ねるハザードマップの活用の仕方を実例で紹介いただき、簡単に自由にリスクを調べ、防災に役立つ情報をまとめて知ることが出来るマップがあることを初めて知りました。

2つ目のお話は、火山とその噴火から命を守るために必要なことについてでした。秋田県の6つの活火山のうち秋田焼山、秋田駒ヶ岳、鳥海山は立派な活火山であるということ、その噴火の多くは小さいタイプの噴火である水蒸気噴火であるが、さらに大きな噴火になると火災泥流、火砕流が発生するので特に注意が必要であることを実験を交えて教えていただきました。水を張った水槽内で再現された噴煙が上がる噴火と火砕流、その2つの違いが印象的で、一瞬のうちに広がり山をくだる火砕流の恐ろしさが一目瞭然でした。砕流からは逃げられるものではないのであらかじめ逃げしておくことが大事という事も知りました。分かっ



ていてもなかなか行動するのは難しいかもしれませんが、命を守るためには「さっさと避難」、これを肝に銘じたいと思います。

最後に、秋田県民歌です。火山学者の林先生が読み解くと、それはもう火山の歌であると思えず、いかに秋田県が火山と共にあるかを物語っていました。私を含め学習会に参加された方は、まさか秋田県民歌をこの目線で捉えるとは...と、思ったに違いありません。とても楽しく、学びの多い学習会でした。

令和7年度 第34回全国女性建築士連絡協議会（やまがた）E分科会 建築士の役割を一般の方にわかりやすく伝える～林業木材産業との協働の中で～

秋田中央建築士会 須藤 亜紀

「体験学習」を通じて次世代を担う子供たちに建築という世界を伝える、という取り組みはおそらく全国で行われていると思いますが、本分科会では「木工体験」を主軸とした秋田県と和歌山県からの事例報告となりました。

秋田県では、木材関連産業の活性化を目的として始まった「出前講座」で、地元中高生を対象とした木材関連の講話と職業紹介、組子制作体験を行っており、農業高校造園緑地科1年生を対象に話した内容について、全体の流れとポイントを説明しました。和歌山県からは、児童・生徒を対象とした木育活動におけるカレンダーキットの制作過程と、年齢層による対応の違いや、活動を通して建築士の役割を伝える難しさについて報告されました。

体験学習をメインしてしまうと、設計という仕事自体についてふれることはできないので、建築士の役割を示すにはちょっと不向きな感があります。建築に関わる仕事について説明するのも、対象の年齢層によってさまざまです。実際に就業を意識し始める高校生相手であれば、建築を形づくる様々な仕事について具体的に紹介し、より興味を持ってもらえるような工夫が必要と感じました。



秋田県の中の湯沢市 2025 『ものづくり温故知新』

湯沢雄勝建築士会 由 利 靖

■普段生活

日々居心地の良い環境を整えようと自分も含めた環境造りを意識しながら【構想～立案～検討～発言～実行～検証～修正～】と、いちおう建築士っぽい立場という事もありなんとなく普段生活をしてるように見せているのでしょう。さまざまな方々よりご尽力を頂いているのに、なかなか上手くいく事なんてそうありませんが1%くらいは『おお～良かったですね』と言える瞬間が垣間見えるからこそ、コツコツ積み重ねて良かったかなあと4年に一回くらいは思ったりします。

先日開催された『建築士の日』イベント、そこからのボウリング大会、本当に楽しかったです。建築士の仲間とも想像以上に内容の濃いお話をできましたし、お酒も美味しいし、ターキーとったのに今年もビリだし、お酒も美味しいし、と。準備に奔走された方々に感謝申し上げます。

もともと寂しがり屋なのでいろんな会合に参加できるように頑張ってるふりをしています。普段はパソコンに向かってGoogle ストリートビューで世界旅行に行った気分で満足するような寂しがり屋ですが、イベントや会合で皆さんとお会いできると元気を分けて頂いている気持ちになります。



楽しいボウリング大会

■建築確認申請

今年、令和7年の春より建築確認申請の一部がちょっぴり模様替えをしました。もちろん事前にさまざまな【検証～対策～周知など】準備を整えたつもりでしたが、おおかたの予想通りに『進めてみなくちゃ分かんない』てな具合で数物件チャレンジさせて頂きました。

つくづく諸官庁の方々は完璧な対応で自分の知識不足や不甲斐なさにちょっぴりヘコみました。

それでも今後もお仕事として続いていくことなので、諦めずに学習を積み重ねております。

皆どんな気持ちで現調～申請書類～図書一式などを整えているのだろうと思いを馳せながら、諸官庁の方々とやり取りを重ねているうちに『なぜこうも丁寧にじっくり諦めずに対応してくれるのかなあ?』と不思議な感情に行き着きました。

私はおもに住まい造りの施主様や大工さんなどとの話し合いがたまたま多いわけですが、わりと無意識に丁寧にお話を聞き、分析しながら何件かの選択肢を提案する機会があります。

ここで『諦めない対応』という点では私にとってまだまだ不足している部分だなあと感じる事ができました。この歳になっても新たな気付きができる環境に感謝の気持ちでいっぱいです。

でもしかし作業量は増えたなあと、課題が山積みなのは私だけでしょうか？

グングン加速する住まいの省エネルギー化には私自身は少しびっくりしています。本当に大事な分野であることは間違いないことだと理解しています。今回の建築確認申請の模様替えもその一環ではありますが、30年くらい前の私は丁寧な作業が大事



楽しいお酒の席

であることを良く教えられたものでした。

でもそれは今では当然のことで、これからは更なる技術革新と住まう側の意識改革も含めた時代に進んでいる事になっているように感じます。図書類の作成だけではなく表現～説明という分野でも更なる発展が必要なのかなと不安と期待でモンモンとしております。

ただ、その不安やネガティブな気持ちは感染するとややこしくなるかと思うので、なるべく笑顔でニワニワとお伝えしようと努力しています。

■図書類の気持ち

コンプライアンスという名称が私の耳に届いたのは、つい先日みたいな感覚です。と言うと少し無責任な表現ですが、皆さんご存じの通り私はなかなかのズボラなのでせめて内容だけはしっかりと表現できるよう努めています。書類や図面に載っている文字や線や寸法などは揺るぎない事実という意識は何十年も前から教え込まれていますので、毎回図面作成では個性が出るのだろうと意識して皆さんが見やすい図書になるよう心掛けています。ただ、私の想いを書き綴るというより施主様の想いを造り手に正しく伝える事に重心を置くことを意識した表現をすることに寄ってしまう事が多いので、結果的にコンプライアンス？などが不足しがちかも？

毎々回さまざまな立場の方々にジロジロ食い入るように見られる図書類たちは、どのように人々を観察しているのだろうと。まるで漫画にでてくるお話のようですがパソコンに向かって書類作成と図面作成ばかりしているとこんな感じになっちゃう寂しがり屋です。

・・・建築士もひとりの人間ですよ

はじめに『じぶんも含めた環境造り～』などと言いましたが、結局のところ自分の事は後回しになり、依頼者の気持ちを最優先に図書類に反映させることが建築士としての『ものづくり』なのかなあと、日々モンモンと鉛筆とマウスをいじっております。針穴に糸を通すようなスケジュールの中でコンプライアンスの重圧にキトキトしながら大きくて精密な建物を管理することは簡単にものづくりの一言では収まらないような気がします。

—お風呂上に新しい下着に替えますか？

—濃い色のフロア床材はホコリが目立ちますよ？

—外側の窓ガラスを拭くと汚れが落ちますよ？

など、お声がけを怠ると建築士免許を剥奪されるほどのコンプライアンス違反になるのかしら？と感じてしまう事も4年に一回くらいあります。

でも、気持ちの通じ合う信頼関係づくりが『ものづくり』の一步となるのであれば、図書類には必要最小限の表現で補えるのかなあと時々感じます。

ゆえに、依頼者の方々には私の普段生活なども含めて程よくご理解いただけるとちょっぴりお話をし易くなればと努力を続けております。



きれいな千秋公園とミルハス

支えられているから支えるチカラを鍛える

令和7年 9月

会 務 報 告

(令和7年1月～7月)

- 1月8日(水) 令和6年度 東北ブロック会 第1回まちづくり委員会 小原正明理事 出席
於：宮城県建設業国民健康保険組合会館 6階会議室
- 1月9日(木) 2025年 賀詞交換会 (男鹿市) 淡路会長 出席 於：男鹿市文化会館 小ホール
- 1月17日(木) 横手建築士会 令和6年度 新年会 淡路会長 出席 於：よこてシャイニーパレス
- 1月22日(水) 令和6年度 第2回空き家対策連絡会議 櫻庭徹理事 出席 於：秋田県市町村会館
- 1月23日(木) 災害対策委員会+日本損害保険協会・日本損害鑑定協会 意見交換会 佐々木昭仁氏 出席
(WEB参加) 於：日本建築士会連合会 5階 会議室
- 1月29日(水) 建築士会東北ブロック会 事務局職員研修会議 植田事務局長 出席 於：仙台サンプラザ
- 1月31日(金)～2月1日(土)
令和6年度 全国まちづくり委員長会議 小原正明理事 出席
於：松江市民活動センター、興雲閣
- 2月6日(木) 大館北秋田建築士会 令和6年度事業・活動報告及び新年会 淡路会長 出席
於：プラザ杉の子
- 2月6日(木) 第53回 秋田県工業系高校生徒による建築設計作品コンクール 審査会 能上秋田中央副会長 出席
於：秋田拠点センター アルヴェ
- 2月7日(金) 仙北建築士会 新年会 淡路会長 出席
於：大曲プラザたつみ
- 2月8日(土) 第53回 秋田県工業系高校生徒による建築設計作品コンクール 表彰式 加藤副会長 出席
於：秋田拠点センター アルヴェ
- 2月21日(金) 全国職員会議 植田事務局長 出席
於：東京都
- 3月4日(火) 建築士定期講習 受講者30名
於：秋田テルサ
- 3月6日(木) 令和6年度 東北ブロック会 第3回会長会議 淡路会長、植田事務局長 出席
於：ホテル モントレ仙台 5階「ローズ」
- 3月15日(土) 第14回 東北ブロック青年大会 あきた大会 淡路会長、熊谷青年委員長 他 116名 出席
於：秋田市文化創造館



3月4日(火) 建築士定期講習



3月15日(土) 第14回 東北ブロック青年大会 あきた大会

- 3月24日(月) (一財) 秋田県建築住宅センター 評議員会 淡路会長 出席
於：アトリオンビル 地下1階 多目的ホールC
- 3月27日(木) 令和6年度 第4回 理事会 於：パーティギャラリー イヤタカ
- 5月8日(木) 令和7年度 第1回事業委員会 開催 於：あきた芸術劇場ミルハス
- 5月14日(水) (一社) 秋田県設備設計事務所協会 通常社員総会および懇親会 淡路会長 出席
於：ホテルメトロポリタン秋田
- 5月16日(金) 横手建築士会 令和7年度通常総会 淡路会長 出席 於：よこてシャイニーパレス
- 5月21日(水) 会計監査 斉藤監事、山脇監事他4名出席 於：アキタパークホテル
- 5月23日(金) (一社) 秋田県建築士事務所協会 第59回 定時総会懇親会 淡路会長 出席
於：ANAクラウンプラザホテル秋田
- 5月26日(月) 能代山本建築士会 令和7年度 通常総会、懇親会 淡路会長 出席 於：シャトー赤坂
- 5月28日(水) 秋田県建設技能組合連合会 第68回 定期大会懇親会 小田島専務理事 出席
於：ホテルメトロポリタン秋田
- 5月28日(水) 秋田中央建築士会 令和7年度通常総会及び懇親会 淡路会長 出席 於：アキタパークホテル
- 5月29日(木) 令和7年度 第1回 理事会 於：パーティギャラリー イヤタカ
- 5月30日(金) 大館・北秋田建築士会 令和7年度 通常総会及び懇親会 淡路会長 出席
於：北秋田市民ふれあいプラザ コムコム
- 5月31日(土) 由利建築士会 令和7年度 通常総会および懇親会 淡路会長 出席 於：安楽温泉
- 6月5日(木) 湯沢雄勝建築士会 令和7年度 通常総会並びに懇親会 淡路会長 出席
於：湯沢ロイヤルホテル
- 6月6日(金) 仙北建築士会 令和7年度 通常総会及び懇親会 淡路会長 出席
於：ゲストハウスフォーシーズン
- 6月17日(火) 一般財団法人 秋田県建築住宅センター 評議員会 淡路会長 出席
於：アトリオン5階 会議室
- 6月17日(火) (公社) 日本建築士会連合会 令和7年度 通常総会及び意見交歓会 淡路会長 WEB出席
於：建築会館ホール (東京都)
- 6月17日(火) 令和7年度 建築士登録機関等連絡協議会 総会 淡路会長 WEB出席
於：建築会館ホール (東京都)
- 6月24日(火) 東北ブロック会 総会・第1回会長会議 淡路会長、小田島専務理事 出席
於：ホテル モントレ仙台
- 6月26日(木) 令和7年度 定時会員総会
於：秋田キャッスルホテル
- 7月4日(金) 秋田県建築物定期報告調査・検査協会
令和7年度 通常総会 懇親会 加藤副会長 出席
於：パーティギャラリー イヤタカ
- 7月6日(日) 令和7年 二級建築士「学科の試験」実施 受験者76名 於：秋田県JAビル
- 7月16日(水) 建築士定期講習 受講者37名
於：秋田県JAビル
- 7月19日(土)～20日(日) 第34回 全国女性建築士会連絡協議会 (やまがた大会) 小田島会長 出席 於：山形テルサ
- 7月26日(土) 「建築士の日」記念事業 於：秋田市市民交流プラザ アルヴェ
- 7月27日(日) 令和7年 一級・木造建築士「学科の試験」実施 受験者：一級 82名、木造 0名
於：秋田県JAビル



7月16日(水) 建築士定期講習

令和7年1月～7月

地域会だより

○鹿角建築士会

1月24日 令和6年度技術講習会

(於 ホテル茅茹荘 17名参加)

演題「2025年4月施行の建築基準法・建築物省エネ法に伴う業務について」

講師 (株)吉田産業 YSサポートセンター

田村 加奈子 氏

終了後、親睦会開催



令和6年度技術講習会

3月15日 青年委員会 第14回東北ブロック青年大会～あきた大会(2名参加)

4月10日 令和6年度会計監査

(於 鹿角建築士会事務局)

4月17日 令和7年度 第1回理事会

(於 鹿角市交流センター 12名出席)

1. 鹿角建築士会通常総会について
2. 県永年功労表彰者等の推薦について
3. 全国大会(おおさか大会)について
4. 秋田県建築士会大会(鹿角大会)について
5. その他



令和7年度通常総会

5月8日 鹿角大会 第1回実行委員会

(於 鹿角市交流センター 11名出席)

6月6日 令和7年度 第2回理事会

(於 ホテル茅茹荘 12名出席)

1. 鹿角建築士会通常総会の進行等の確認
2. 秋田県建築士会定時総会について
3. 秋田県建築士会「建築士の日」記念事業について
4. その他

令和7年度通常総会(於 ホテル茅茹荘)

1. 令和6年度事業報告及び収支決算承認の件
2. 令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件
3. 役員改選の件

6月26日 令和7年度秋田県建築士会定時会員総会
(於 秋田キャッスルホテル 3名出席)

7月3日 鹿角大会 第2回実行委員会

(於 鹿角市交流センター 9名出席)

7月22日 鹿角大会 第3回実行委員会

(於 鹿角市交流センター 12名出席)

7月26日 令和7年度秋田県建築士会「建築士の日」記念事業
(於 秋田市 5名参加)

○大館北秋田建築士会

1月9日 第5回大館歴史的建造物研究会

(於 中央公民館 出席8名)

- ・山福邸調査写真の選択
- ・今後に打合せ予定について

1月21日 三役+α ZOOM会議(参加5名)

- ・新年会について

1月23日 第6回大館歴史的建造物研究会

(於 中央公民館 出席5名)

- ・山福邸調査写真の確認

- ・根下戸郷蔵調査写真の選定
- 1月30日 第7回大館歴史的建造物研究会
(於 中央公民館 出席6名)
- ・山福邸調査報告書の文章の確認
- 2月6日 令和6年度新年会(於 プラザ杉の子
出席29名、市職4名)
- 1. 活動報告
大館・北秋田建築士会
まちづくり委員会 長 鳥潟 宏一
青年部 幹事 長 北村 公晴
女性部 幹事 長 安達真由美
全国大会かごしま大会報告
会 長 松橋 雅子
講 評 大館市長 石田 健佑様
- 2. 新年懇親会



- 2月13日 第8回大館歴史的建造物研究会
(於 中央公民館 出席6名)
- ・山福邸調査報告書の文章の再確認
- 2月27日 第9回大館歴史的建造物研究会
(於 中央公民館 出席7名)
- 1. 山福邸調査報告書の文章の最終確認
- 2. 根下戸郷蔵調査文章についての協議
- 3月6日 第10回大館歴史的建造物研究会
(於 中央公民館 出席6名)
- ・根下戸郷蔵調査文章についての再確認
- 3月13日 第11回大館歴史的建造物研究会
(於 中央公民館 出席4名)
- ・根下戸郷蔵調査文章についての最終確認
- 3月15日 第14回東北ブロック青年大会あきた大会
(於 秋田市文化創造館 出席5名)
- ・式典、大会イベント参加
- ・懇親会

- 4月9日 北秋田地区ZOOM会議(参加6名)
- ・総会の流れについて
- ・役割分担について
- 4月21日 三役+α ZOOM会議(参加9名)
- ・理事会について
- 4月23日 会計監査(於 事務局 出席4名)
- ・令和6年度 会計監査
- 4月25日 令和7年度 第1回 理事会
(於 大館市中央公民館 出席15名)
- ・総会について
- 1. 総会開催日程について
- 2. 令和6年度事業報告・収支報告・監査について
- 3. 令和7年度事業報告・事業計画・収支予算案について
- 4. 会則改定について
- 5. 役員の改正について
- 6. その他(会員の状況報告、県表彰者推薦の件)
- 7. 報告事項(6月26日県総会、7月26日建築士の日、9月19日全国大会)
- 5月17日 県女性委員会第1回学習会・意見交換会
(於 ミルハス 出席4名)
- 5月21日 第1回青年部会
(於 大館市中央公民館 出席6名)
- 1. 令和6年度事業報告・会計報告
- 2. 令和7年度事業計画
- 3. 令和7年度大館北秋田建築士会通常総会について
- 5月30日 施設見学会
(於 北秋田市合川公民館 参加24名)
- 説明会 合川公民館館長 藤嶋 浩子様
- 令和7年度通常総会
(於 北秋田市ふれあいプラザ コムコム)
- 1. 令和6年度 事業報告 出席会員24名、委任状36名)
- 2. 令和6年度 収支決算報告承認の件及び監査報告
- 3. 令和7年度 事業計画案審議の件
- 4. 令和7年度 収支予算案審議の件
- 5. 会則改定案
- 6. 役員改定案 以上全議案承認



通常総会様子

懇親会

(於 ホテルニュー松尾 耕ホール
会員37名、来賓10名)

6月8日 女性部総会

(於 大館市ガスト 参加5名)

・事業報告・今年度事業計画 他

7月11日 ボウリング練習会

(於 ボウリングアネックス 参加8名)

ボウリング壮行会

(於 焼肉大昌園 参加8名)

7月19日 第34回全角女性建築士連絡協議会

(於 山形 参加1名 WEB参加1名)

7月26日 建築士の日

(於 秋田市市民交流プラザALVE)

親子体験学習 スタッフ参加(参加2名)

建築セミナー 講演会(参加13名)

ボウリング大会 優勝 大館北秋田A

(於 ロックンボウル 参加10名)

準優勝 大館北秋田B

個人優勝 安部直樹

第3位 三浦祥平(賛助会員)



ボウリング大会

懇親会

(於 BLLLLION HOUSE 参加10名)

7月31日 第2回 青年委員会

(於 大館市中央公民館 参加6名)

・建築士の日記念事業報告

・「水廻り工房フェア」協賛出展内容について

○能代山本建築士会

1月9日 理事役員会(シャトー赤坂) 8名参加

1. 中間期事業報告について

2. 今後の事業計画について

3. 総会議事による改定について

4. 役員改定について

5. その他

3月26日 市営万町住宅見学会 8名参加



4月22日 会計監査(鈴喜代) 4名出席

4月24日 理事役員会(中田建設) 9名出席

1. 令和6年度事業報告について

2. 令和6年度収支決算について

3. 令和7年度事業計画(案)について

4. 令和7年度収支予算(案)について

5. 役員改定(案)について

6. その他

5月26日 通常総会・懇親会（シャトー赤坂）

総会出席20名 懇親会出席25名

- ・第1号議案 令和6年度事業報告、承認の件
- ・第2号議案 令和6年度収支決算承認の件 監査報告
- ・第3号議案 令和7年度事業計画承認の件
- ・第4号議案 令和7年度収支予算承認の件
- ・第5号議案 役員改定の件
- ・第6号議案 その他

7月15日 親睦ゴルフコンペ（男鹿ゴルフクラブ）

16名参加

〃 懇親会（シャトー赤坂） 〃

3. 会計監査報告

4. 令和7年度事業計画案

5. 令和7年度一般会計収支予算案決定の件

6. 規約改正の件

7. 役員改選の件

8. その他



○秋田中央建築士会

1月23日 R6年度第3回理事会

（於 アキタパークH）

1. 次年度役員改選について
2. 次年度の事業について
3. その他報告について

4月9日 R7年度第1回三役会

役員改選について （於 センタース）

4月18日 R6年度会計収支決算監査

（於 御厨光琳）

4月24日 R7年度第1回理事会

（於 アキタパークH）

1. 令和6年度事業活動報告
2. 令和6年度一般会計収支決算報告
3. 令和7年度事業計画案
4. 令和7年度一般会計収支予算案
5. 令和7年度総会及び表彰について
6. 役員改選について
7. その他

5月28日 R7年度第2回理事会、総会、懇親会

（於 アキタパークH）

永年表彰

1. 令和6年度事業報告
2. 令和6年度一般会計収支決算承認の件



6月11日 R7年度第1回事業委員会

「建築士の日」記念事業について

（於 BILLION HOUSE）

7月26日 R7年度「建築士の日」記念事業、会員

親睦会

・親子体験学習・建築相談会・講演会

（於 アルヴェ2F）

・地域対抗ボウリング大会

（於 ロックンボウル）

・懇親会

（於 BILLION HOUSE）



○由利建築士会

2月27日 講習会 建築基準法・省エネ法改正講習会
・講習会役割分担協力

4月17日 監査 会計監査
(於 由利建築士会事務局)

- ・令和6年度実施事業及び会計監査
- ・その他

4月17日 理事会 第1回三役会
(於 由利建築士会事務局)

- ・令和7年度総会の件
総会詳細について
実施事業及び予算書(案)
- ・その他 役員選任及び全国大会について

4月25日 理事会 第1回理事会
(於 本荘由利地域職業訓練センター)

- ・総会案件決議要件
(令和6年度事業報告及び収支決算承認の件)
(令和7年度事業計画(案)及び収支予算書(案)の件)

- ・役員改選 その他

5月31日 総会 令和7年度通常総会
(於 安楽温泉)

- ・令和6年度事業報告及び収支決算承認の件
- ・令和7年度事業計画(案)及び収支予算書(案)決定の件
- ・役員改選
- ・その他

○仙北建築士会

2月7日 仙北建築士会講習会
(於 大曲プラザたつみ) 47名参加

1. 「建築物省エネ法、建築基準法の改正等に係る情報提供」
仙北地域振興局建設部
建築課課長 秋山康氏
大仙市建設部
建築住宅課参事 鈴木将氏
2. 「特定小規模施設用自動火災報知設備」について

大曲消防署予防主査 伊藤和馬氏
新年会
(於 大曲プラザたつみ) 84名参加



2月2日 大曲仙北建設技能組合連合会定期大会
小田島会長出席

4月22日 令和6年度会計監査
(於 仙北建築士会事務局)

28日 令和7年度 第1回常任理事会・理事会
(於 大曲職業訓練センター)

1. 令和7年度総会について
事業報告、決算報告、事業計画、予算案、役員改選
2. 令和7年度表彰者について
3. 空き家無料相談について
4. 全国大会について
5. 建築士の日について
6. その他

6月6日 令和7年度仙北建築士会通常総会
(於 フォーシーズン) 37名出席

1. 令和6年度事業報告及び収支決算報告
2. 令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
3. 役員改選について
4. その他

懇親会 83名出席





7月25日 小田島誠氏（一社）秋田県建築士会会長
就任祝賀会
（於：グランドパレス川端） 38名参加



7月26日 「建築士の日」 9名参加

○横手建築士会

- 1月17日 第3回理事会 17:00～17:45
（於 シャイニーパレス） 理事14名出席
1. 会務報告
（県本部）
- ・令和6年12月20日 第4回理事会報告
 - ・第66回全国大会 鹿児島大会報告
- 議題
- ①第66回全国大会 鹿児島大会について
 - ・横手から10名参加（内1名同伴者）
 - ②第4回理事会について
 - ・令和7年4月9日（水）サンサン横手
 - ③令和7年度横手建築士会総会について
 - ・令和7年5月16日（金）シャイニーパレス
 - 担当地域：十文字、増田
 - ・総会役割分担について
 - 次回以降（横手南、山内→横手北、金沢→大雄、大森→平鹿、雄物川）
 - ④その他

- ・2月14日かまくら、青年部活動について
- 4月9日 第4回理事会 14:00～15:30

（於 サンサン横手） 理事13名出席

1. 会務報告

（県本部）

- ・令和6年度3月27日第5回理事会報告
- ・令和7年度定時会員総会6月26日（木）（横手）

- ・令和7年度横手建築士会総会 5月16日（金）

担当：十文字、増田

場所：シャイニーパレス

総会16:30～17:50

2. 議題

- ①令和6年度収支決算について
- ②令和7年度収支予算案について
- ③県表彰について 高橋敏さんを推薦
- ④令和7年度横手各役割分担について
- ⑤会費徴収について
 - ・令和7年5月末までに照井郁人建築設計事務所にて集金
- ⑥定例理事会、主行事日程について
- ⑦物故者、退会者、新入会者について
- ⑧その他

- 5月16日 総会直前理事会 15:00～16:20（於 者）

1. 議題

- ・令和7度横手建築士会総会について

- 5月16日 横手建築士会通常総会 16:45～17:45
（於 シャイニーパレス） 32名出席

1. 議事

- ・令和6年度事業報告・収支決算書について
- ・令和7年度事業報告（案）・収支予算書（案）について
- ・役員改選
- ・その他



6月10日 第1回理事会 14:00～15:00

出席者 12名

(於 サンサン横手) 理事11名出席

1. 会務報告

(県本部)

・令和7年5月29日 第1回理事会報告

・定時会員総会 令和7年6月26日

(横手)

・通常総会 令和7年5月16日

(於 シャイニーパレス)

2. 議題

①役割分担について

②会費の徴収について

③定例理事会、主行事日程について

④令和7年度新入会者

小野誠、羽後電設工業、山二施設工業

⑤その他

・AI講習会開催 7月25日

7月25日 AI講習会 かまくら館 5階研修室
14名参加

7月26日 建築士の日記念事業に参加 秋田市市民
交流プラザ アルヴェ 7名参加



6月5日 法規講習会

講習会出席者27名 講師：仙北地域振興
局建築課 (16:00～)

通常総会

令和7年度湯沢雄勝建築士会通常総会
総会出席者30名 委任状27名 計57名
(16:45～)

議案その他、原案通り満場一致で可決
来賓・関連企業14名、会員15名で懇親会
を開催 (18:00～)

(於 湯沢ロイヤルホテル)

○湯沢雄勝建築士会

4月3日 執行役員会

令和7年度第1回執行役員会

(於 山脇組 15:00～17:00)

出席者 4名

4月17日 監査

令和6年度会計監査

(於 湯沢ロイヤルホテル

11:30～12:00)

出席者 4名

4月17日 理事会

令和7年度第1回理事会

(於 湯沢ロイヤルホテル

13:00～15:00)

1. 令和6年度会務報告

2. 〃 収支決算会計監査報告

3. 役員改選

4. 令和7年度事業計画

5. 〃 収支予算計画

6. 〃 通常総会について



◆建築士定期講習のお知らせ◆ ～忘れてませんか！～

平成20年施行の建築士法の改正により、建築士事務所に所属する全ての建築士は、登録講習機関が行う定期講習を3年以内に受講することが義務付けられております。

以下の方は、令和7年度末（令和8年3月31日）までに受講する必要があります。

- ・建築士事務所に所属し、令和4年度に定期講習を受講した方
- ・令和4年度以前に建築士試験に合格し登録を行ったが未受講の方

今年度の秋田県建築士会が行う定期講習は次のとおりです。講習会の開催は、当会における主要な事業となっております。建築士会員は、当会主催の対面講習受講していただきますようお願いいたします。

第3回定期講習（1E-03）

日 時 令和7年11月19日（水）
場 所 大仙市大曲交流センター 講堂
定 員 80名
申込期間 8月25日（月）～10月31日（金）

第4回定期講習（1E-04）

日 時 令和8年3月4日（水）
場 所 秋田テルサ 5階 会議室
定 員 80名
申込期間 11月4日（火）～2月13日（金）
※申し込みは、（公財）建築技術教育普及センター HPから

◆既存住宅状況調査技術者講習【新規・更新講習】のお知らせ◆

宅地建物取引業法の改正に伴い、平成30年4月から建物状況調査等に関する措置が施行されました。改正宅建業法の重要説明事項説明の既存住宅状況調査をするには、この講習会を終了し、登録されることが必要です。

また、令和4年度（2021年）の講習を受講された方は、登録を継続するために今年度中に更新講習を受講する必要があります。

講習会の講座内容およびカリキュラムは、（一社）日本建築士会連合会のホームページをご覧ください。

※申し込みは、（公社）日本建築士会連合会HPから

【新規・更新講習】を受講される方は、オンライン講習を受講してください。

◆第47回（一社）秋田県建築士会大会 鹿角大会◆

今年度の県大会は、鹿角建築士会が主管です。概要は以下のとおりです。多くの皆様の参加をお待ちしております。

大会テーマ 「建築と温暖化問題～温暖化も実はごみ問題の一つ」
日 時 令和7年11月8日（土）
場 所 鹿角パークホテル
会 費 無料（※但し、懇親会参加費は6,500円）

次第(予定) 13:00～ 受付
 13:30～14:00 式典
 14:15～15:30 基調講演 講師：畠中環境カウンセラー事務所 畠中 豊氏
 15:45～17:30 実習（ワークショップ）
 18:00～ 懇親会
 ◇詳細は、建築士会HPをご覧ください。
 ※申し込みは、各地域会で取りまとめますので10月末日まで地域会に申込みください。

◆令和7年度 優良建物見学会◆

鹿角大会の翌日に鹿角地域において、優良建物見学会を開催いたします。

見 学 先 旧鹿角郡公会堂、旧関善酒店主屋、道の駅かづのあんとあ、
 花輪ばやし屋代（花輪ばやし実演）

日 時 令和7年11月9日(日) 9:00～12:00

集 合 旧鹿角郡公会堂 駐車場他（2班に分かれて見学します）

会 費 無料

◇詳細は、建築士会HPをご覧ください。

※申し込みは、各地域会で取りまとめますので10月末日まで地域会に申込みください。



旧鹿角郡公会堂



旧関善酒店主屋



かづのあんとらあ（祭り展示場）

◆令和6年度 木造住宅耐震診断支援事業の概要について◆

市町村が実施する木造住宅耐震診断事業において、当会が診断士を派遣した昨年度の状況は以下のとおりです。

1. 受託状況

12市町村と委託契約締結。47戸の実績。（令和5年度は27戸）

・鹿角市 0戸	・大館市 4戸	・北秋田市 1戸	・能代市 1戸
・男鹿市 6戸	・五城目町 3戸	・秋田市 11戸	・由利本荘市 3戸
・大仙市 3戸（内、1戸は中止）	・横手市 11戸	・美郷町 3戸	
・湯沢市 1戸			

2. 診断結果

・最高評点0.59 ・最低評点0.03 ※平均評点 0.23

3. 地域別の登録診断士数

○登録診断士数 計56名

・鹿角 3名	・大館北秋田 8名	・能代山本 6名
・男鹿市 2名	・秋田中央 8名	・由利 3名
・仙北 13名	・横手 11名	・湯沢雄勝 2名

○現在登録されている診断士の人数において地域的なばらつきがあり、各地域で若干の診断士数の増員が望ましい状況です。

◇秋田県耐震診断技術者の登録（更新）について

秋田県では、木造住宅の耐震化の促進に向けて、住宅を所有する方が安心して耐震診断を受けられるように、耐震診断を実施する上で必要な知識・技能を有する建築士を「耐震診断技術者」として登録し公開しております。

令和8年3月31日で登録期限を向かえる方は、更新手続きが必要となりますので、忘れずに更新してください。

◇窓口 秋田県建設部 建築住宅課 建築指導班 電話：018-860-2565

URL：https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/22034

◆建築士会 CPD 制度活用と手数料改定のお知らせ◆

経営事項審査の審査基準の改定により、審査の際に継続教育（CPD）が評価対象として加点されることとなりました。その組織に所属する CPD 参加者が一定の単位を修得した場合（12 単位 / 年）に加点することができます。この機会に建築士 CPD 制度に参加しませんか。参加者の皆様には、次年度の更新について地域会を通じてご案内しております。（期限：毎年2月18日まで）

また、賛助会員及び非会員の手数料を令和7年4月より変更いたしました。

1. 参加登録方法

建築士会 CPD 制度に参加を希望する建築士等は、各地域建築士会で所定の手続きと所定の費用を納めて参加登録をします。

2. 参加申込書、及び CPD カードの作成申込書

建築士会で定める「建築士会 CPD 制度参加登録申込書」（様式第1号）に必要事項を記入の上、建築士会の定める費用を添えて申し込みます。

◆費用一覧◆（税込）

費 用	内 容	会員 ^{*1}	賛助会員 ^{*2}	非会員
①初期登録費	サーバーに個人履歴を蓄積可能とする設定費。【参加初年度のみ】	0円	1,100円	3,300円
②データ登録・管理費	研修プログラムの出席データの登録およびそれら履歴を適正に管理するための費用。【毎年、必要】	550円	2,750円	7,700円
③CPDカード発行費	研修プログラムにおける出席データ登録のために必要なCPDカードの1枚あたりの作成費用。【原則1人1枚発行】	770円	1,650円	2,200円
④CPD実績証明書発行費	個人履歴に基づき、証明書の交付を受けるための1通あたりの費用。	550円	1,100円	3,300円
⑤事後申請データ登録費	CPDプログラムの認定は、事前認定が原則ですが、特例として建築士会が認める場合に、個人の申告によりCPD単位を申請し、単位認定を受けるための費用。【1申請1プログラム当たりの費用】。	550円	1,650円	3,300円
⑥建築CPD情報提供制度利用費	建築CPD情報提供制度（事務局：（公財）建築技術教育普及センター）の活用を希望する場合にかかる費用。【毎年1回必要であるが、秋田県は初回のみ】	550円	550円	550円

※1：正会員および準会員（施工管理技士等） ※2：賛助会員が所属する建築士等

◆参考：『建築士会 CPD 制度 参加者ガイドライン』日本建築士会連合会

（一社）秋田県建築士会の HP よりダウンロードしてください。

◆参加登録後に、個人の CPD 番号とパスワードが発行され、CPD 情報システムが活用することができます。

◆建築士会のこれからについて『意見・提案募集!』◆

昨今の建築士会の運営は、会員の減少等により全国的に事業の規模縮小の傾向にあることはご承知のとおりです。建築士試験合格者の減少も大きな要因です。会員も高齢化が進み、若年会員の入会が非常に少ない状況にあり会員数が減少傾向にあります。

昨年度の通常総会において、『魅力ある建築士会するために何をすべきか会員アンケートの実施』の提案がありました。その後の理事会で協議したところ、引き続き本誌上で意見・提案を募ることとなりました。

つきましては、秋田県建築士会の運営について様々な角度からのご意見・ご提案を募集いたします。多くの会員よりの声をお待ちしております。

・提出先 (一社) 秋田県建築士会 事務局

E-mail : Ak-jimukyoku@akitakenchikushikai.or.jp

FAX : 018-827-3873

◆令和 7 年度 定時会員総会資料の訂正について◆

令和 7 年度定時会員総会資料に誤記がありました。訂正した内容を明示するとともに深くお詫び申し上げます。

・ P3

(1) 令和 6 年度会員総会

定時会員総会	6 月 28 日 14 : 30 ~ 15 : 30	秋田キャッスルホテル 4 階 放光の間
定足数 令和 6 年 4 月末の正会員数 833 名 有効議決権数 508 名 (出席者 62 名、委任状 446 名) <定足数は 1 / 3 以上>		
議案 1. 令和 5 年度収支決算書類の承認の件		
報告 1. 令和 5 年度事業報告及び監査報告		
2. 令和 6 年度事業計画及び収支予算書 3. その他		
総会終了後、式典・祝賀会開催		

・ P5

1 月 23 日	連合会第 5 回災害対策委員会 (WEB)	佐々木昭仁委員出席
2 月 4 日	連合会第 1 回防災まちづくり部会：大阪大会セッション (WEB)	佐々木昭仁委員出席

・ P7

(9) 親子体験学習

6 月 15 日	親子体験学習「きもちのいい家つくろう」 in 大館 2024 ダンボール等でおうち製作 参加者 10 組 21 人 大館市立中央公民館
7 月 6 日	親子体験学習「～つくってあそぼう 木工教室～」 子供用椅子の製作 参加者 37 組 81 人 にぎわい交流館 AU

・ P11

(3) 令和 6 年度委員会の構成

女 性	湯沢	清水川道子	北秋	安達真由美	鹿角	石木田まり子
			秋田	伊藤加久子	北秋	藤嶋 秀美
			由利	周防 敦子	能代	池田 佐保
					秋田	樋渡 博子
					秋田	須藤 亜紀
					秋田	大滝恵里子
					仙北	藤田 晶子
					仙北	小林 凡子
					横手	小幡 寛子
					湯沢	佐藤 全子

編集後記

湯沢雄勝建築士会 佐藤 隆 志

長年にわたり秋田県建築士会を牽引いただいた淡路会長に心より感謝を申し上げます。8年間という長きにわたり、地域の発展と建築士の社会的役割向上の為、特に全国大会秋田大会では、強いリーダーシップを発揮されました。その誠実で温かな人柄は、多くの会員の心の支えとなり、次世代への礎を築いてくださいました。深く敬意を表し、厚く御礼申し上げます。

そして、新たに就任されました小田嶋新会長。これからも私達一人ひとりが力を合わせ、共に新しい時代の課題に挑んでまいりましょう。

今年の夏も記録的な暑さに加え、各地で豪雨被害も発生しました。建築士として、気候変動を踏まえた安全で快適な住環境づくり、そして災害に強い地域づくりは、私たちの重要な使命です。地域全体で、ハザードマップを活用しながら万が一の時の避難動線の確保。知恵と技術を総動員しなければなりません。

これからも、地域に根ざし、人々の安心と笑顔を守る建築を追及してまいりましょう。淡路会長の築かれた土台を受け継ぎ、小田嶋新会長のもと、更なる飛躍を目指して共に歩んでいきたいと思います。皆さまのご理解と協力をお願い申し上げます。

まだまだ残暑が続くようですが、2か月後にはまたつらい冬が待っています。これからも、季節の目まぐるしいこの秋田で手を取り合い頑張っていきましょう。

・3月15日 第14回東北ブロック青年大会秋田大会

全国大会大阪大会にて実施される地域実践活動発表会の東北ブロック代表として秋田県建築士会青年委員会（担当：能代山本）が選ばれました。



秋田市文化創造館 スタジオ A



地域実践活動報告 東北ブロック代表 結果発表

・6月25日 「建築士の日」記念事業 PR



記念事業 PR CNA にて 淡路会長と加藤青年委員長

・6月26日 定時会員総会 式典 祝賀会



小田島新会長の就任挨拶と新執行役員

・7月26日 「建築士の日」記念事業 親子体験学習



かなづちで釘打ちに挑戦



イスが見事完成 ピース！



淡路前会長 4期8年間、ありがとうございました。(総会祝賀会にて女性委員会より花束贈呈)

あきた建築士会ニュースNo.164 (2025年9月号)

発行／一般社団法人秋田県建築士会 住所／〒010-0001 秋田市中通二丁目3-8 秋田アトリオンビル5階(一財)秋田県建築住宅センター内 電話／018-827-3718
編集／一般社団法人秋田県建築士会事務局 発行日／令和7年9月22日 印刷／秋田協同印刷株式会社